

KC-S

# スチール屋根型物置 拡張シェルターキット

この度は当製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。使用前に、この取扱説明書を最後までお読みのうえ正しい使い方でご愛用ください。この取扱説明書は組み立て後も捨てずに、大切に保管しておいてください。

## 品質表示

寸法 / 幅2780×奥行1270×高さ1850 (mm)  
(本体に拡張シェルターキットを取り付けた時の商品サイズ)  
構造部材 / アルミ亜鉛合金メッキ合板 原産国 / 中国

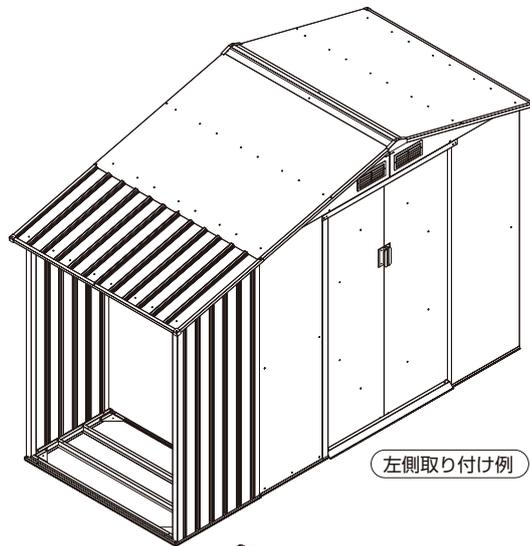
## 使用上の注意及び禁止事項

取り扱いを誤ると、身体に負傷や物的損害が発生する恐れがあります。

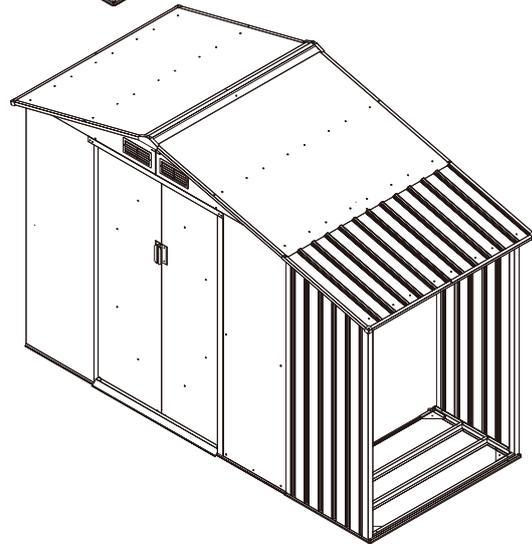
- 完全防水仕様ではない為、吹き込みなどによる雨水浸水の恐れがあります。
- 不用意に隙間に手を入れないでください。ケガをする可能性があります。
- 危険ですので、屋根部分には物を置かないで下さい。物が落ちてきてケガをする可能性があります。
- 強風、地震などに備え、転倒防止には十分ご配慮下さい。
- 落雪の恐れ、風の通り道、など条件の悪い場所への設置はしないでください。
- 端部に極端な荷重をかけないでください。転倒する恐れがあり、ケガ・破損をすることがあります。
- 上に乗ったり、ぶらさがったりしないでください。転倒し、ケガや破損の恐れがあります。
- 凸凹や段差のある所、砂地などの軟弱な地面での使用は避けて水平を保てる場所に設置し、ご使用ください。本体が転倒し大ケガの恐れがあります。
- 思わぬ事故につながる可能性がありますので子供に組み立てをさせないでください。また、子供の遊具などに使用しないで下さい。
- ボルト、ネジ、ビス類は、確実に締め付けてください。定期的に締め直してください。
- 本製品は一般家庭用です。業務用ではご使用にならないでください。
- 異常が生じたままや、本来の用途以外の使い方はしないでください。
- 分解・改造はしないでください各部の組み立てがきちんとなされている事をご確認の上でご使用ください。
- 廃棄する際は居住地域の処理方法に従ってください。
- お客様の取り扱いの不注意による破損等の補償はいたしかねます。
- 本組立説明書を許可無く転載することは禁止しております。

※ 本製品は簡易梱包の為、部材にすり傷や凹みがある場合があります。ご了承下さい。

※ 本製品の薄板鋼板(壁面及び屋根)は凸条(プレス加工)による補強をしております。壁と屋根との合わせ部分、はめ込み部分等には凸条による隙間が生じますので鋼板と鋼板の重なり部分から雨水が入る場合がございます。



左側取り付け例



右側取り付け例



**拡張シェルターキットは左右どちらにも取り付け可能です。**

組み立て前に拡張シェルターキットを左右どちらにも取り付けるのか決定してから組み立て作業を開始してください。

## 必要な資材・工具類

●メジャー、スパナ、カッター、脚立、軍手、水平器、電動ドライバーをご用意して下さい。



注意

- ・風が強い日、雨が強い日の組立ては危険なため控えて下さい。
- ・組立て時には、軍手・長袖・長ズボンを着用してください。
- ・部品の金属板端が切れやすくなっている為ケガのないように気をつけて下さい。

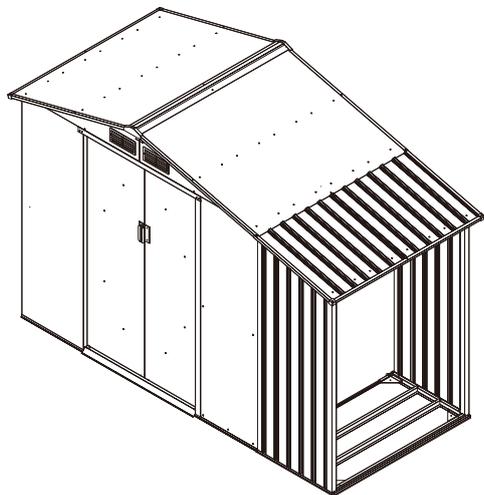
〈設置する場所、柱の固定方法に合わせて下記資材・工具等をそろえて下さい〉

設置する場所	用意するもの	固定方法
土の面への設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンカーセット(部品No. AM11)</li> <li>・ハンマー</li> <li>・ワイヤーカッター(市販品)</li> </ul>	地面にアンカーを打ち込む <b>P.27参照</b>
コンクリート・アスファルト面への設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケミカルアンカー(部品No. T2~T3)</li> <li>・コンクリートドリル</li> </ul>	コーナープレート(部品No. T-F)の下穴にケミカルアンカー(部品No. T2~T3)を打ち込みます。 <b>P.27~28参照</b>

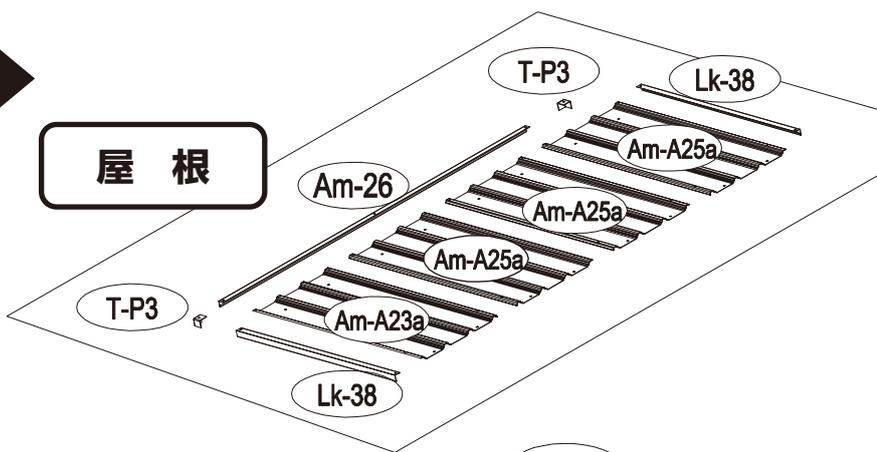
※必ず段差の無い水平を保てる場所に設置してください。

# 拡張シェルターキット明細部品

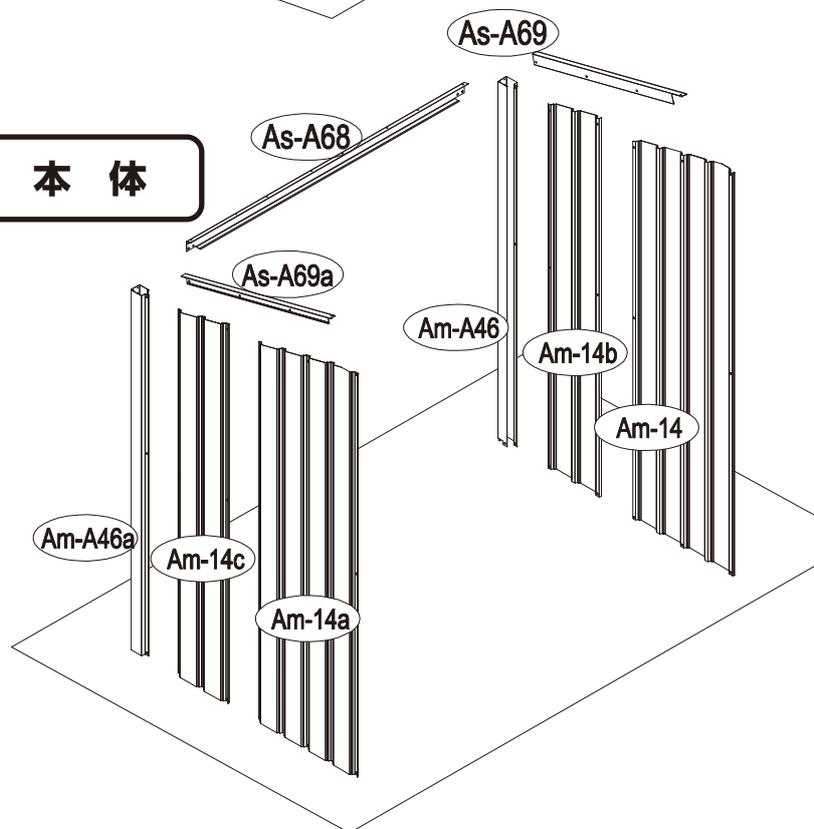
右側に取り付ける場合 P.3参照



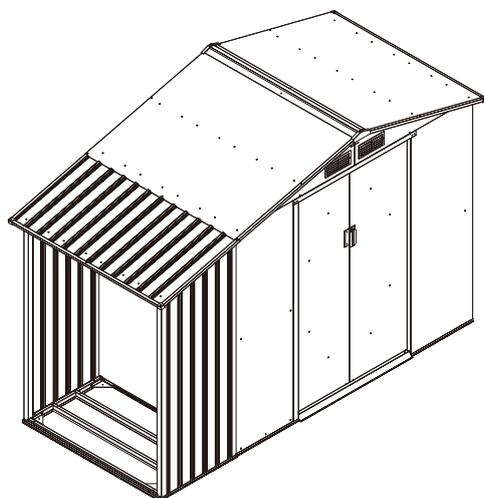
屋根



本体

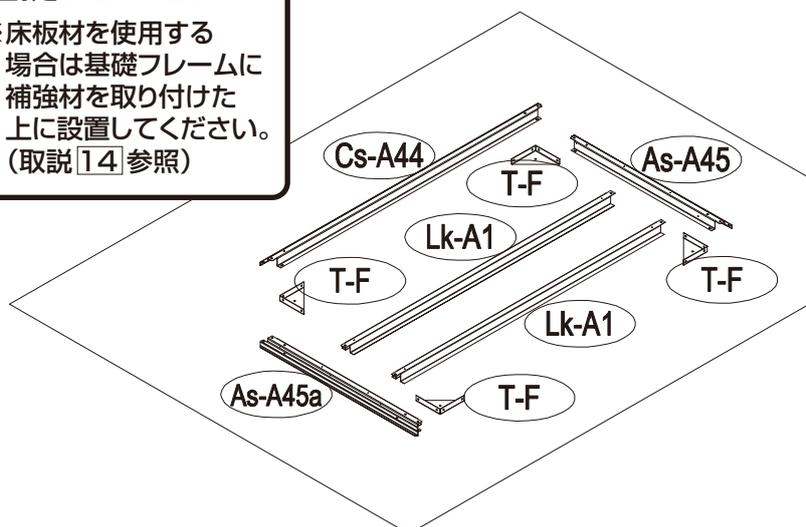


左側に取り付ける場合 P.15参照



## 基礎フレーム

※床板材を使用する場合は基礎フレームに補強材を取り付けた上に設置してください。(取説14参照)



 一部の部材には保護フィルムが貼られていますので、事前に剥がしてから組立ててください。

# 必ず2人以上で組み立ててください

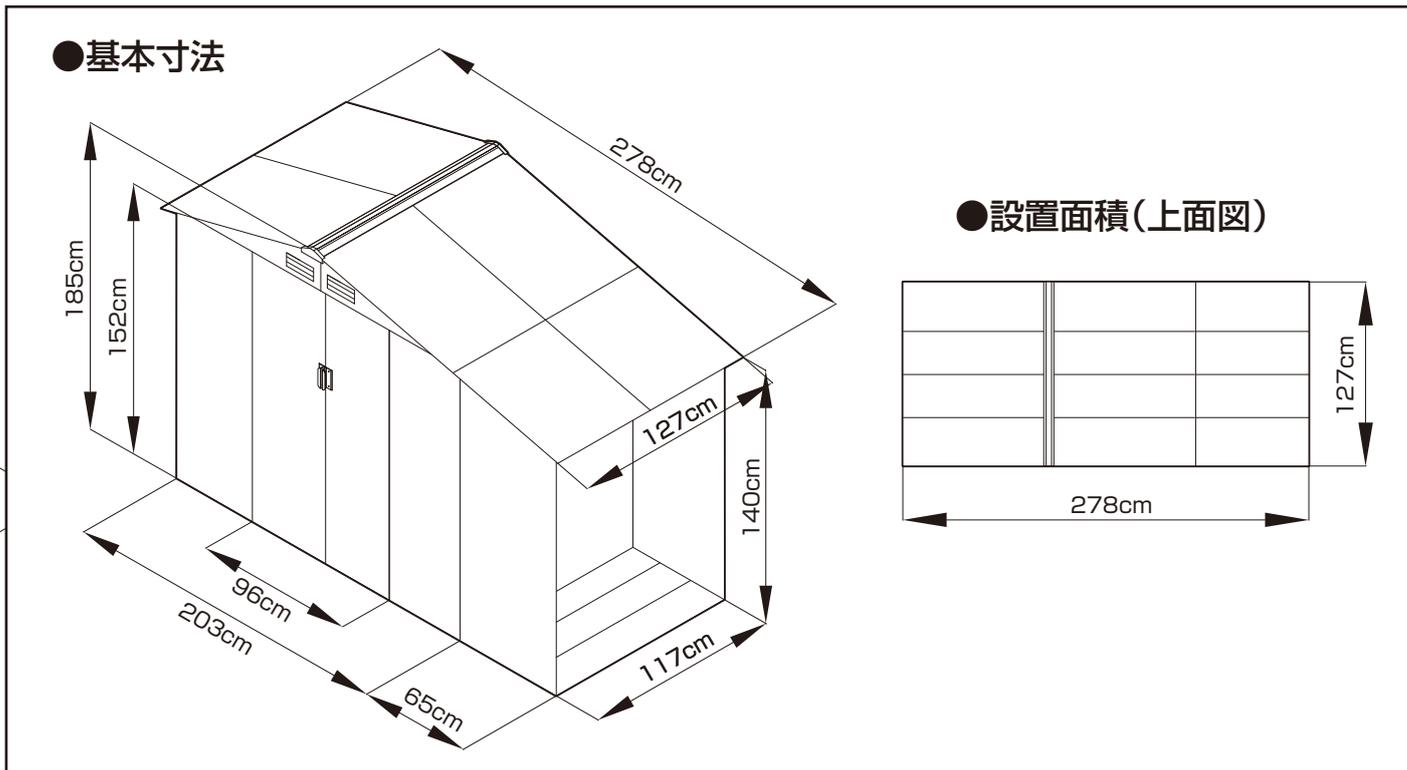
○基礎フレームの上に置く床板材は付属していません。床板材が必要なお客様はホームセンターなどでご購入下さい。

## 拡張シェルターキット セット内容

拡張シェルターキット用床板材サイズ / (幅) 約1100× (奥行) 635 (mm)

NO.	部品・断面図	mm	入数	NO.	部品・断面図	mm	入数	NO.	部品・断面図	mm	入数
基礎フレーム部				屋根 ②				その他			
Cs-A44		1174	x1	Am-14b		1456	x1	T-P3	✉		x2
As-A45		666.5	x1	Am-14c		1456	x1	Akm-A40			x56
As-A45a		666.5	x1	Am-A46		1385	x1	Akm-A41		ST4X10	x79
Lk-A1		1141	x2	Am-A46a		1385	x1	Akm-A42		ST4X16	x10
T-F			x4	As-A68		1174	x1	Akm-A43		M4X10	x8
T-1		ST4.2X13	x16	As-A69		652	x1	Akm-A44			x40
T-2		ST5.5X40	x4	As-A69a		652	x1				x1
T-3			x4								
屋根 ①				Am-A23a		762	x1				
Am-14		1548	x1	Am-A25a		762	x3				
Am-14a		1548	x1	Am-26		1296	x1				
				Lk-38		693	x2				

※各部品には部品No.(例Cs-A44)が記載されていますので必ず、確認してから組立して下さい。 ※その他の部品(Akm-A40~Akm-A44)は予備部品を一緒に入れた数量になります。

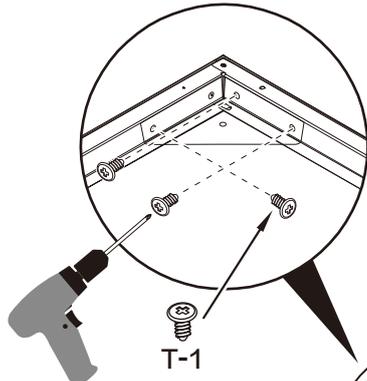




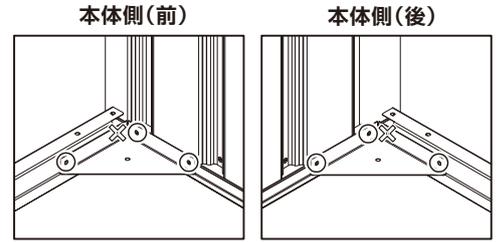
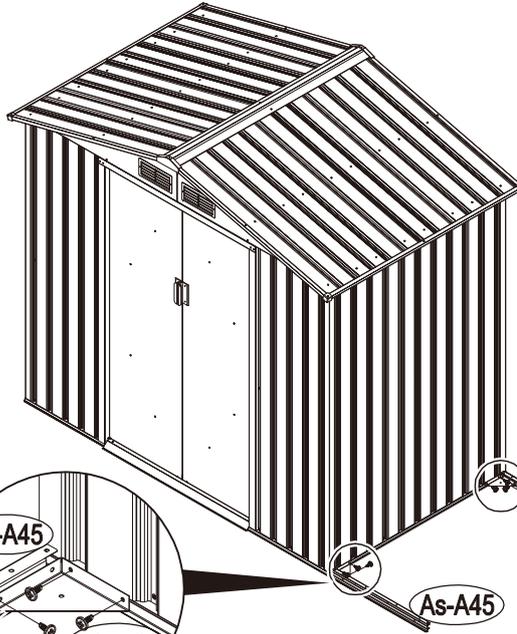
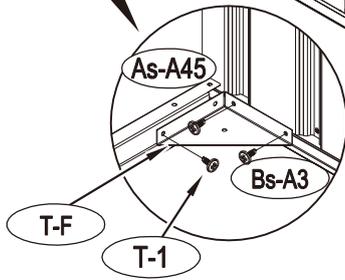
■必ず2人以上で組み立ててください。

**3** 基礎フレームのコーナに(T-F)コーナプレートを取り付けます。

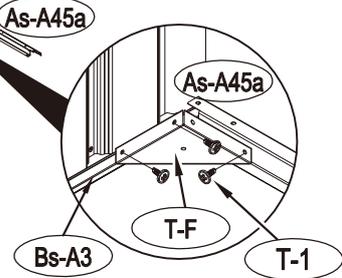
※コーナプレートを取り付ける際基礎フレーム側に穴が開いていないので電動ドライバーを使用してネジ込みください。



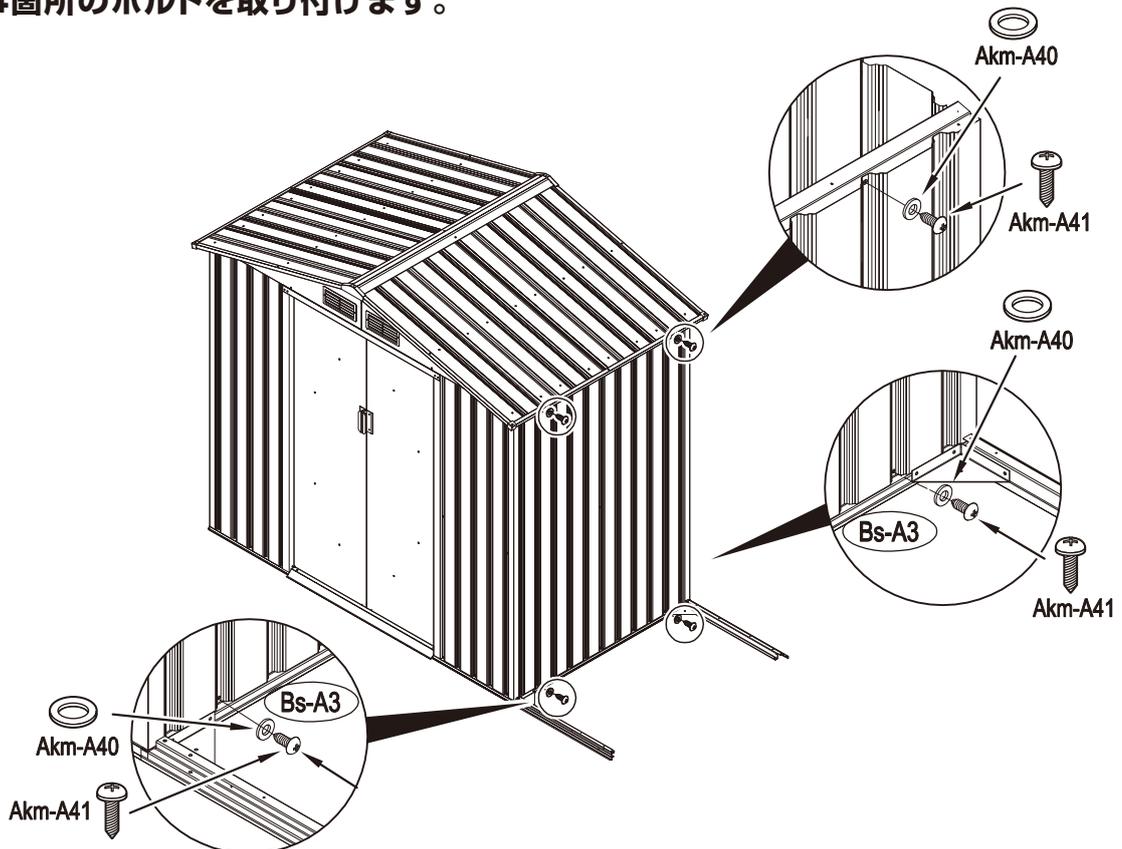
X2



物置本体側に接する2枚のコーナプレート取り付けは、3箇所ネジ止めになります。  
※コーナプレートには4箇所の穴がありますが、3箇所のネジ止め  
※ネジ(T-1)1個の余りは予備部品として保管下さい。

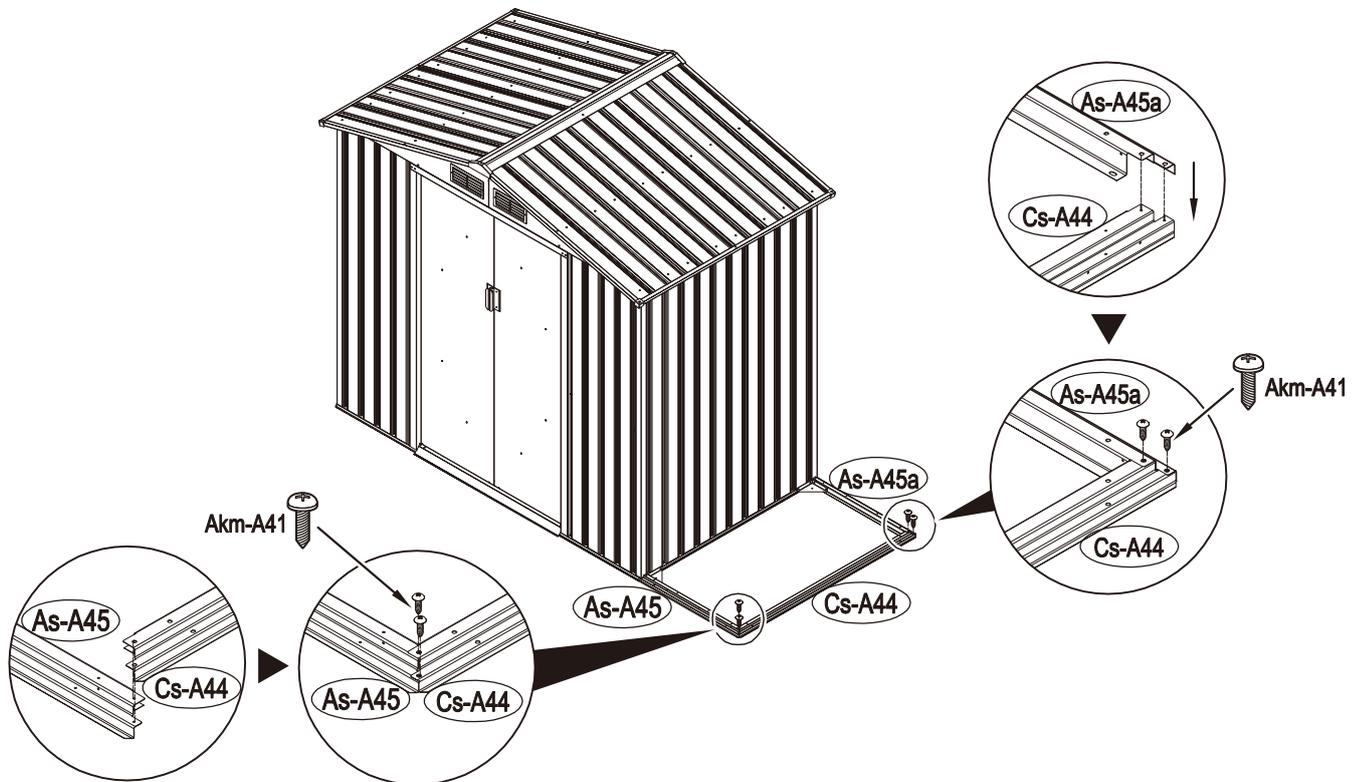


**4** 側板の上下4箇所のボルトを取り付けます。

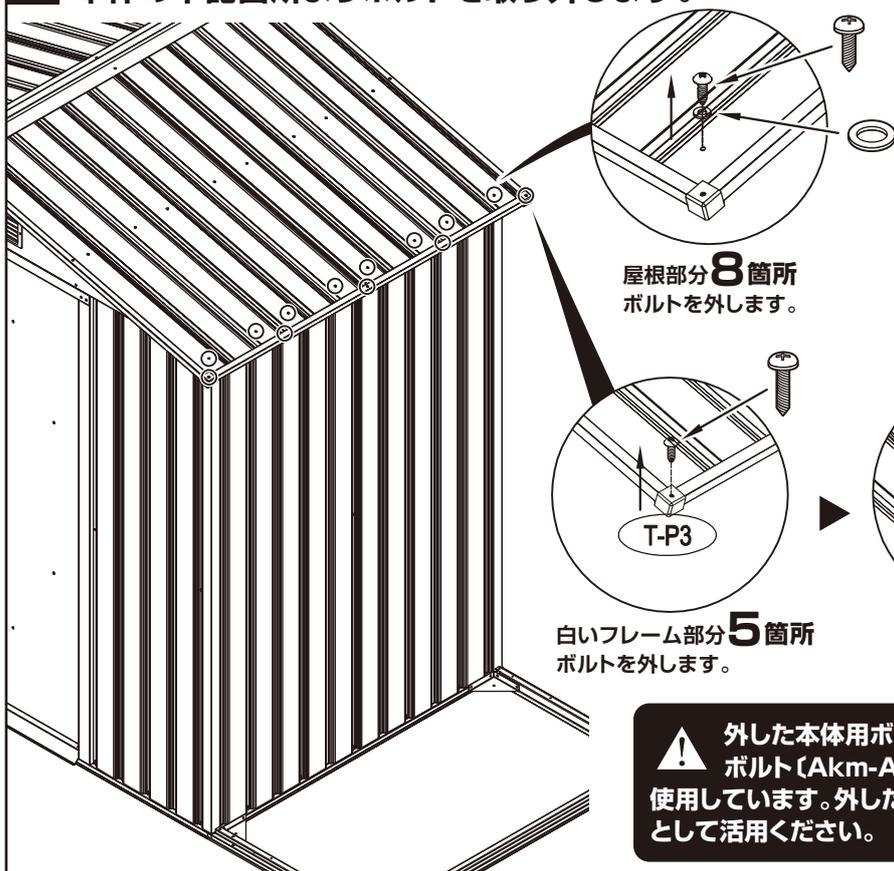


# 組み立て順序

## 5 (As-A45)と(As-A45a)に(Cs-A44)を取り付けます。



## 6 本体の下記箇所よりボルトを取り外します。



**!** 拡張シェルターキットを取り付けする際、組立手順でネジを一回外して、それ以降の組立手順で、ネジを外した箇所に再度ネジを打ち込む作業が発生致します。※ネジ穴(ネジを外した箇所のみ)が大きくなる可能性があります。ネジ噛み合わせが悪かった場合は、ワンサイズ大きいネジ(市販品)をホームセンターなどでご購入頂き、打ち込み下さい。

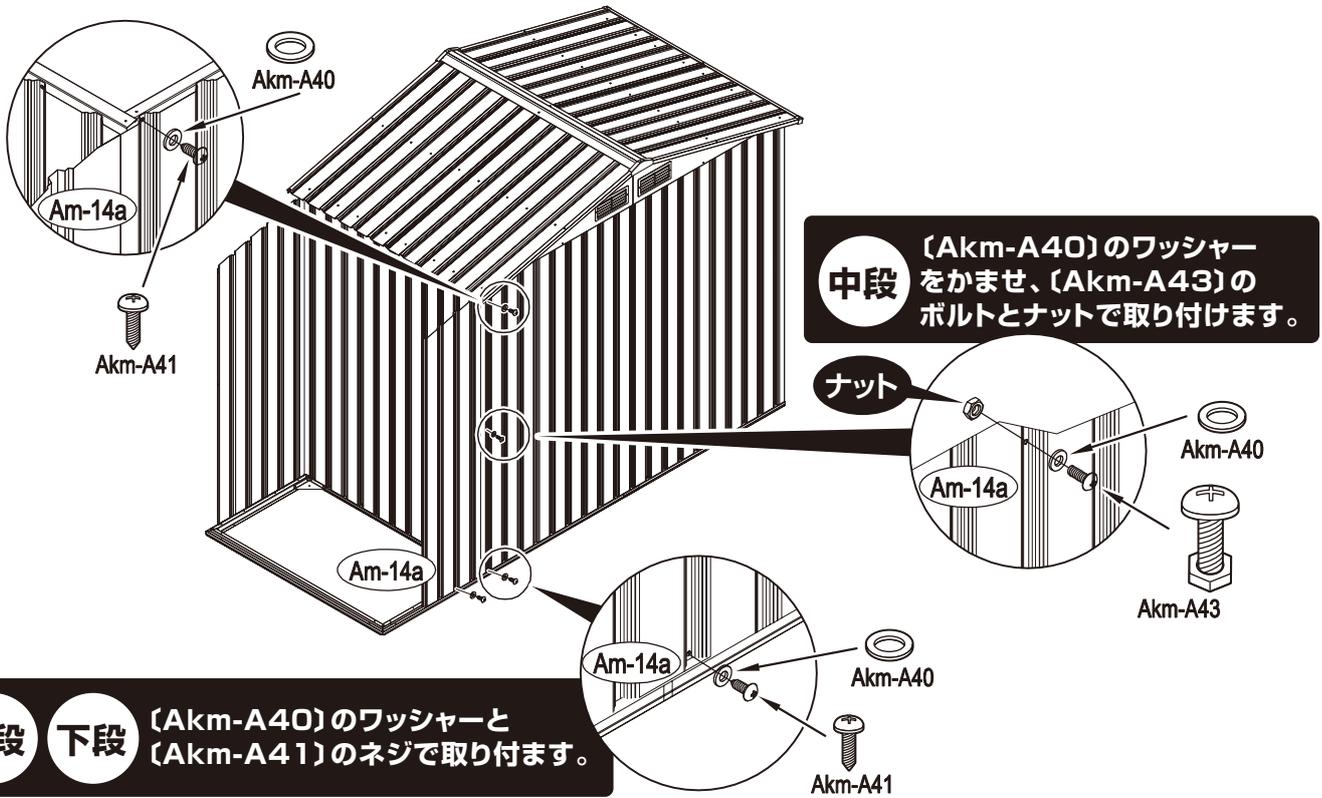


**!** 外した本体用ボルト(Am-A41、A42)は拡張シェルターキット用ボルト(Akm-A41、A42)と部品Noが違っただけで同じボルトを使用しています。外した本体用ボルトは(Akm-A41、A42)の予備部品として活用ください。

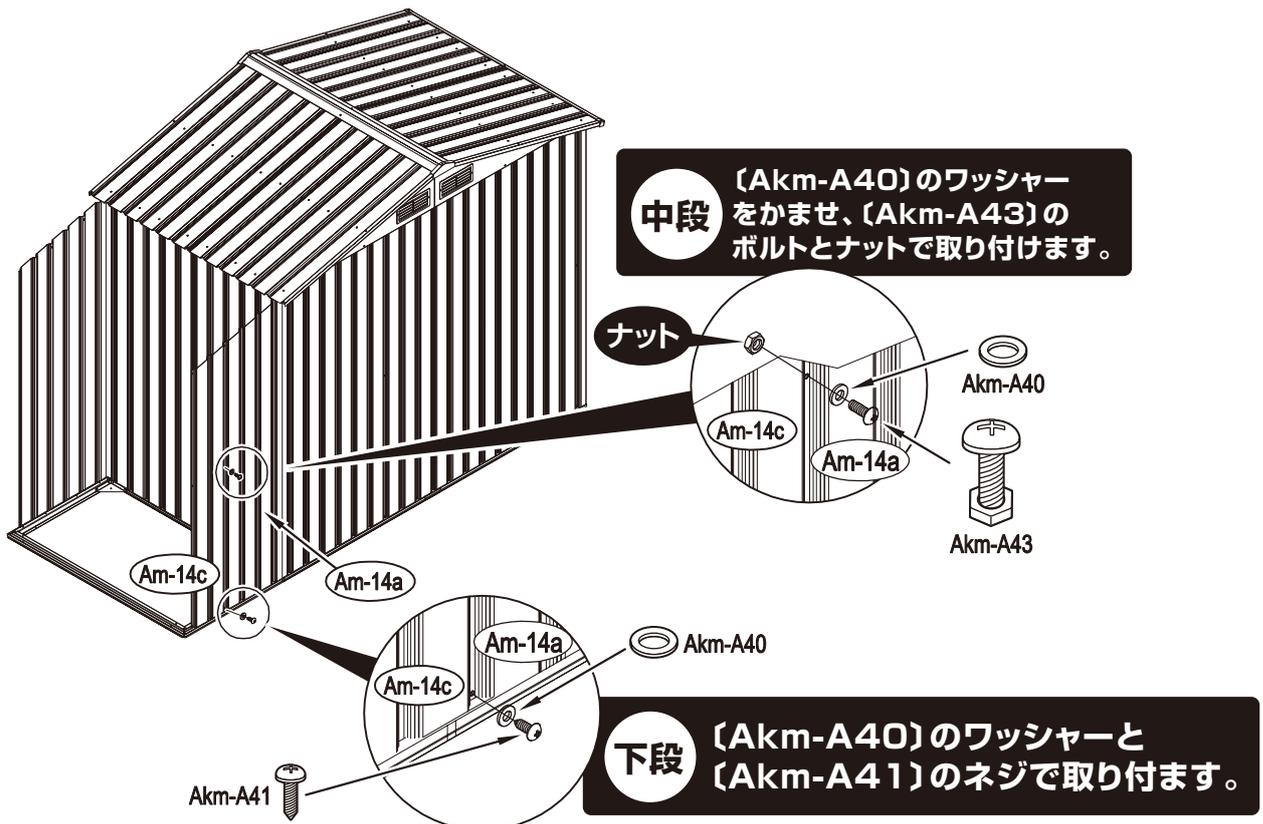


# 組み立て順序

9 本体に〔Am-14a〕の壁面パネルを取り付けます。

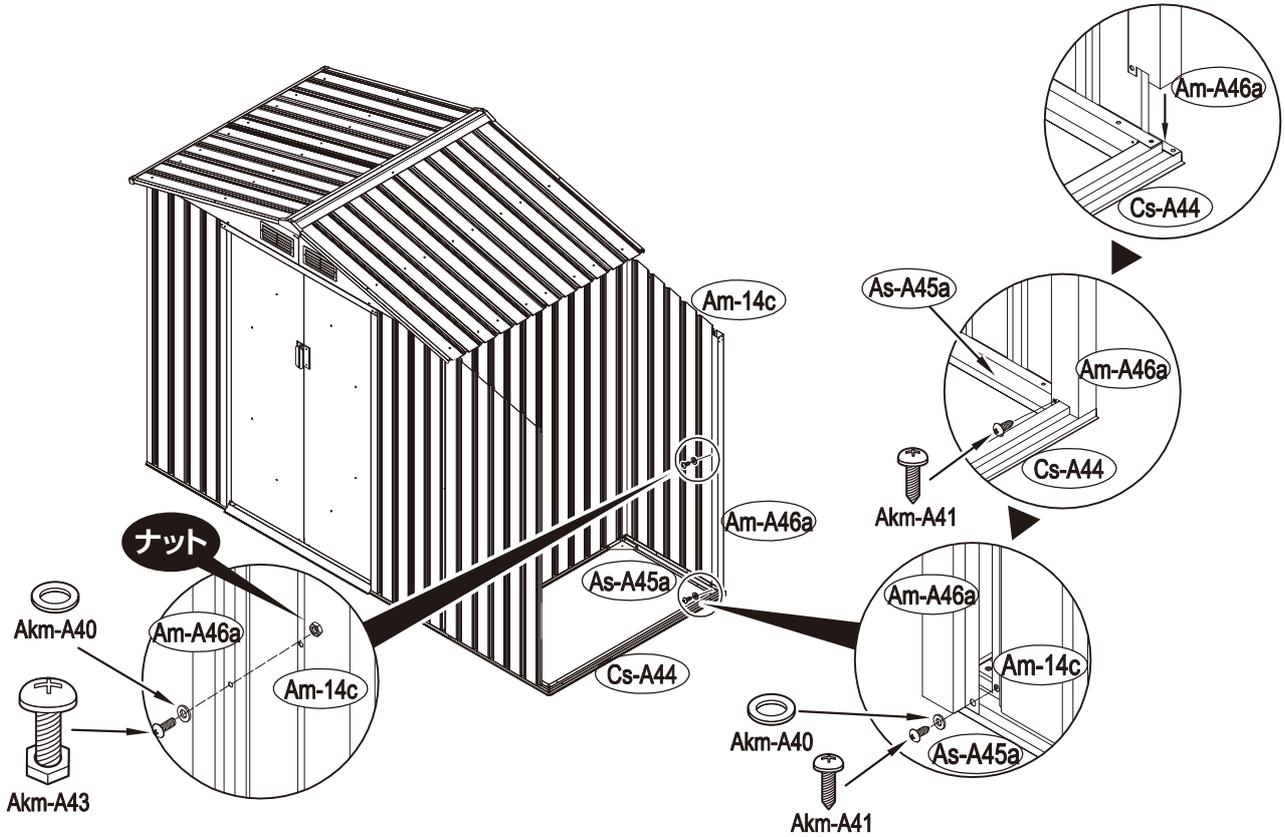


10 〔Am-14a〕の壁面パネルに〔Am-14c〕を取り付けます。

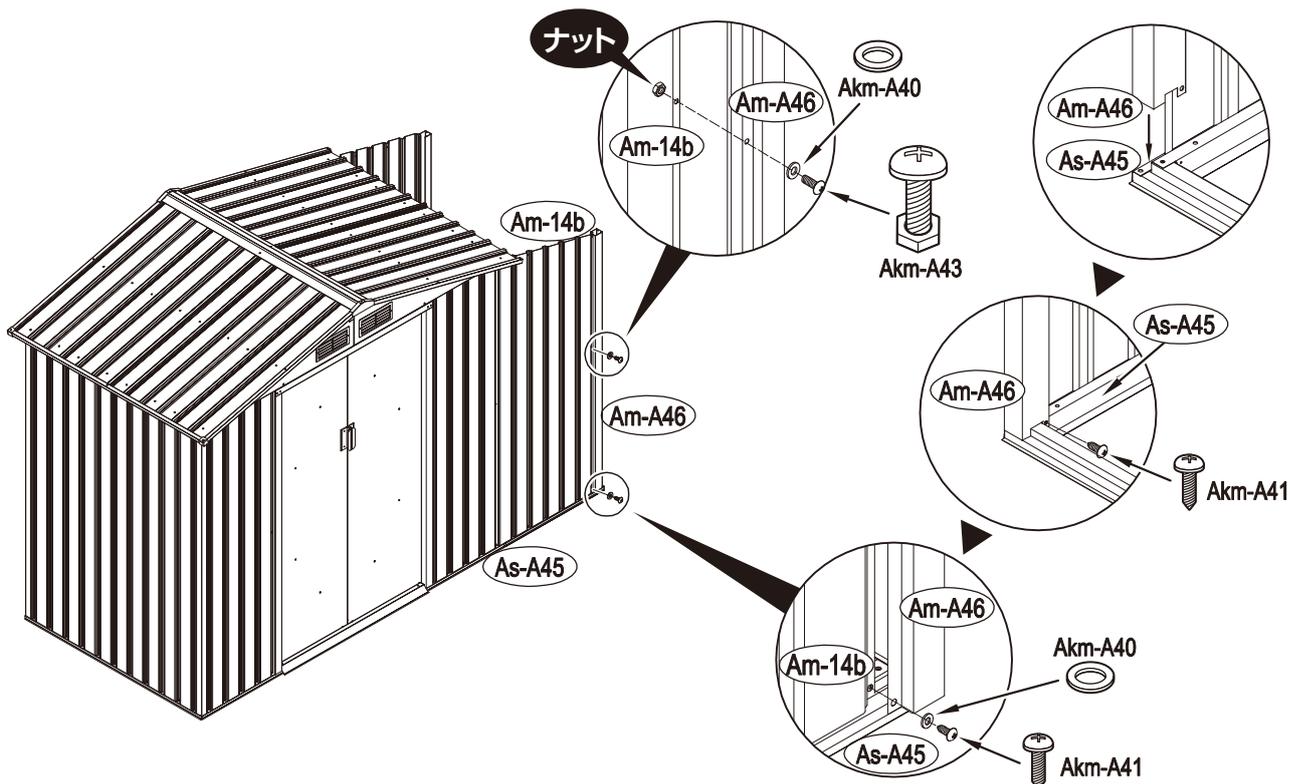


■必ず2人以上で組み立ててください。

11 (Am-14c)の壁面パネルに(Am-A46a)を取り付けます。



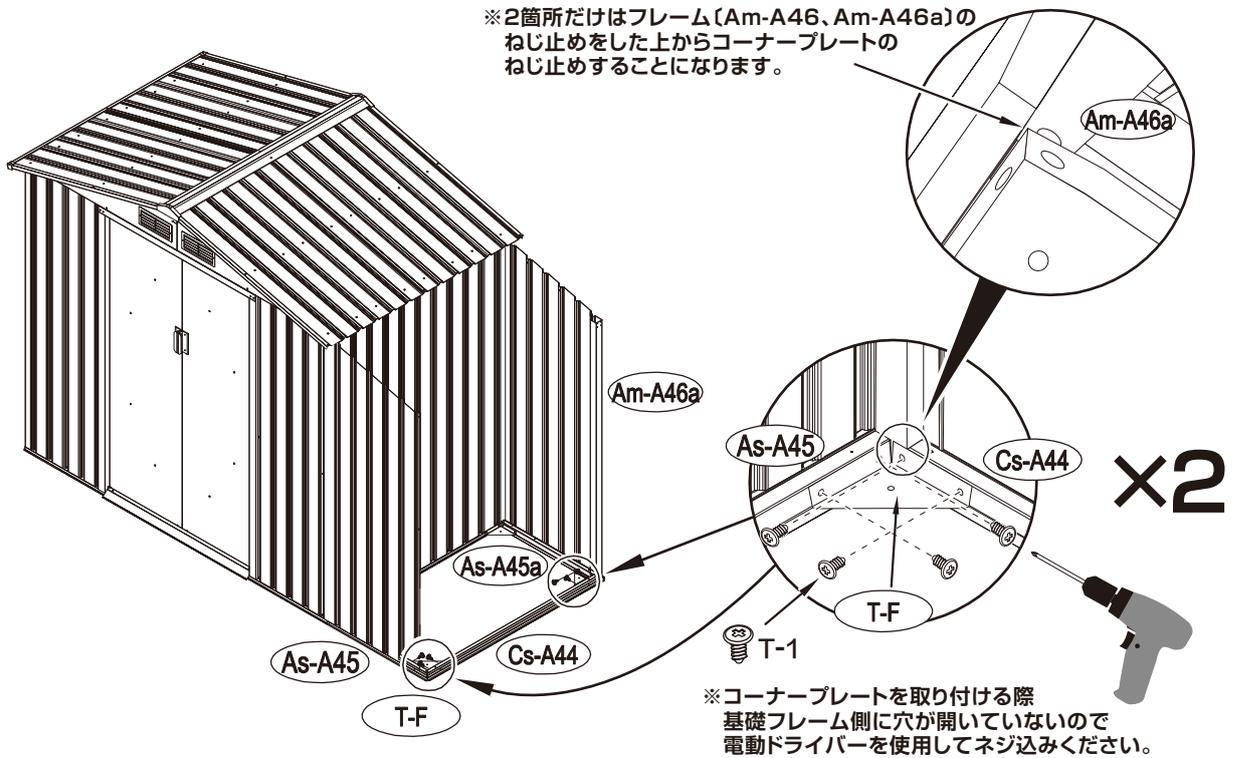
12 (Am-14b)の壁面パネルに(Am-A46)を取り付けます。



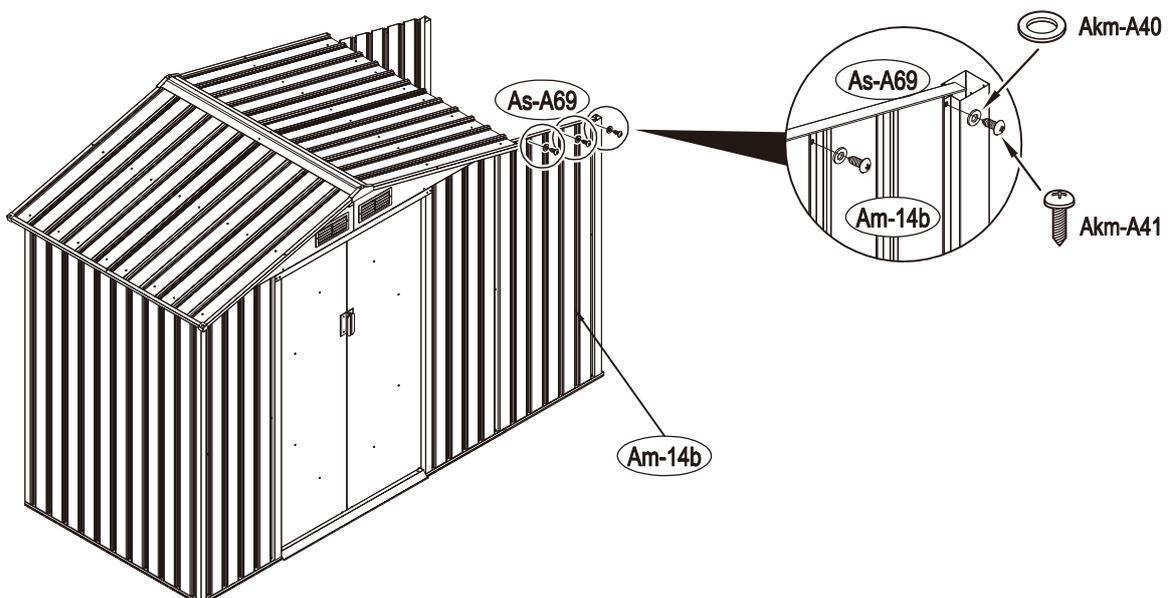
# 組み立て順序

## 13 基礎フレームのコーナに〔T-F〕コーナプレートを取り付けます。

※2箇所だけはフレーム〔Am-A46、Am-A46a〕のねじ止めをした上からコーナプレートのねじ止めすることになります。

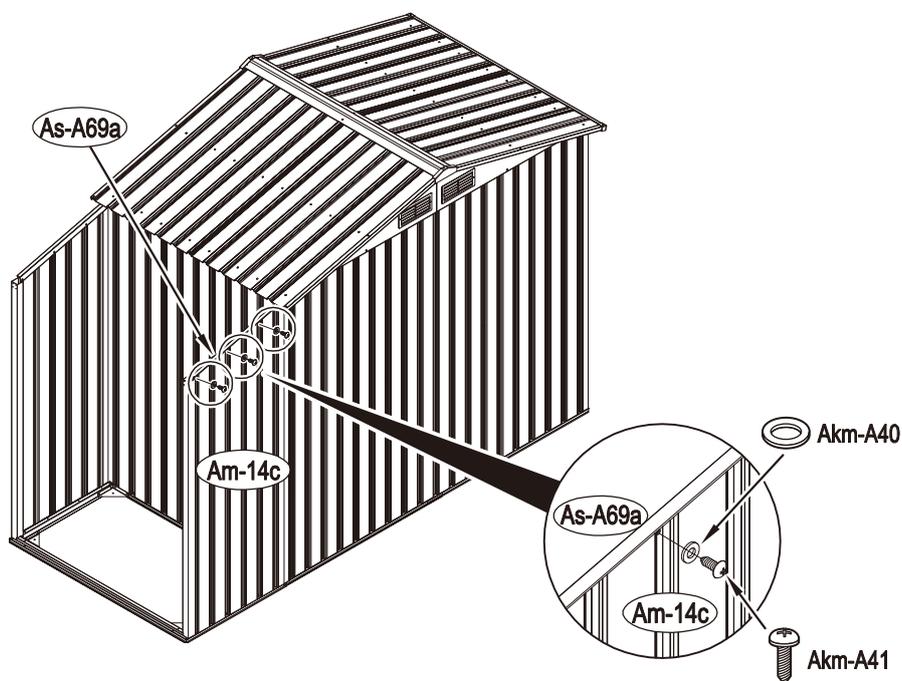


## 14 〔Am-14b〕の壁面パネルに〔As-A69〕を取り付けます。

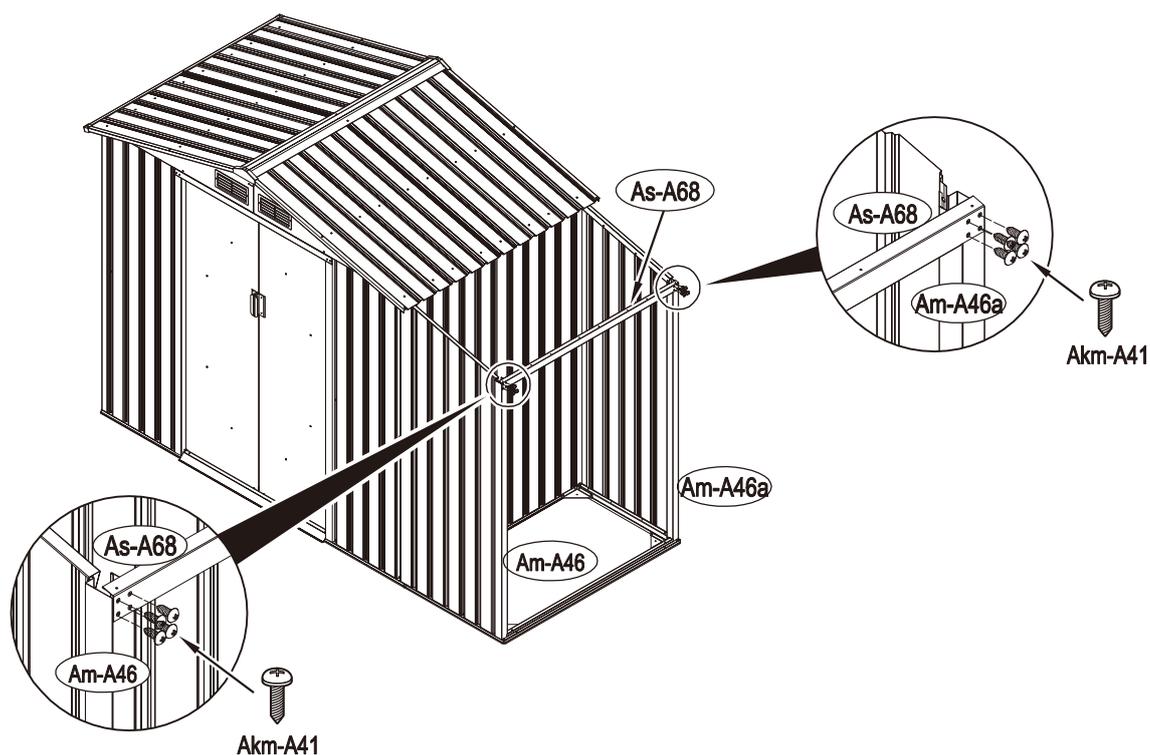


■必ず2人以上で組み立ててください。

15 (Am-14c)の壁面パネルに(As-A69a)を取り付けます。



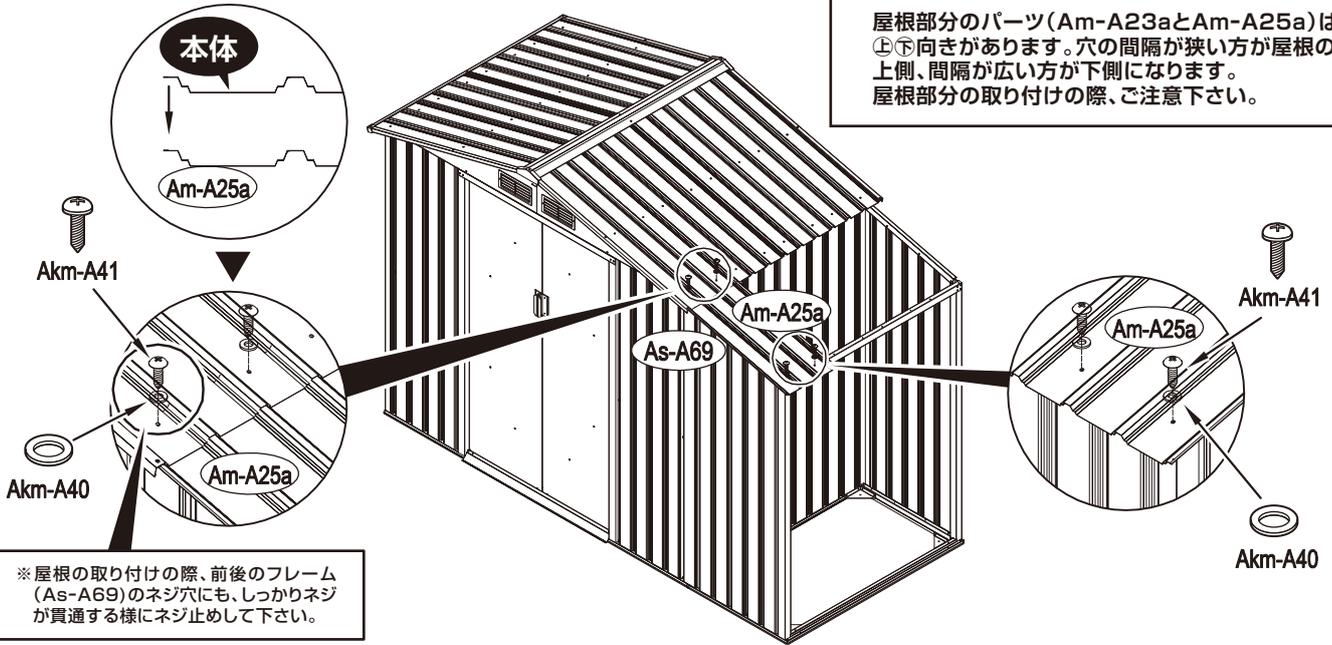
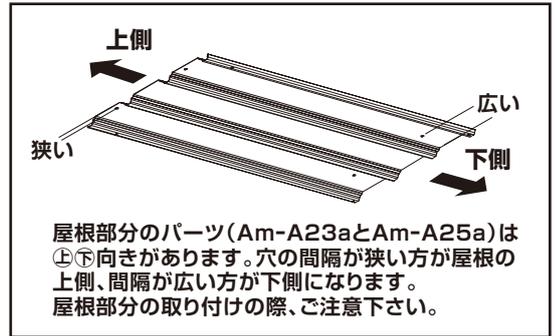
16 (Am-A46)と(Am-A46a)に(As-A68)を取り付けます。



# 組み立て順序

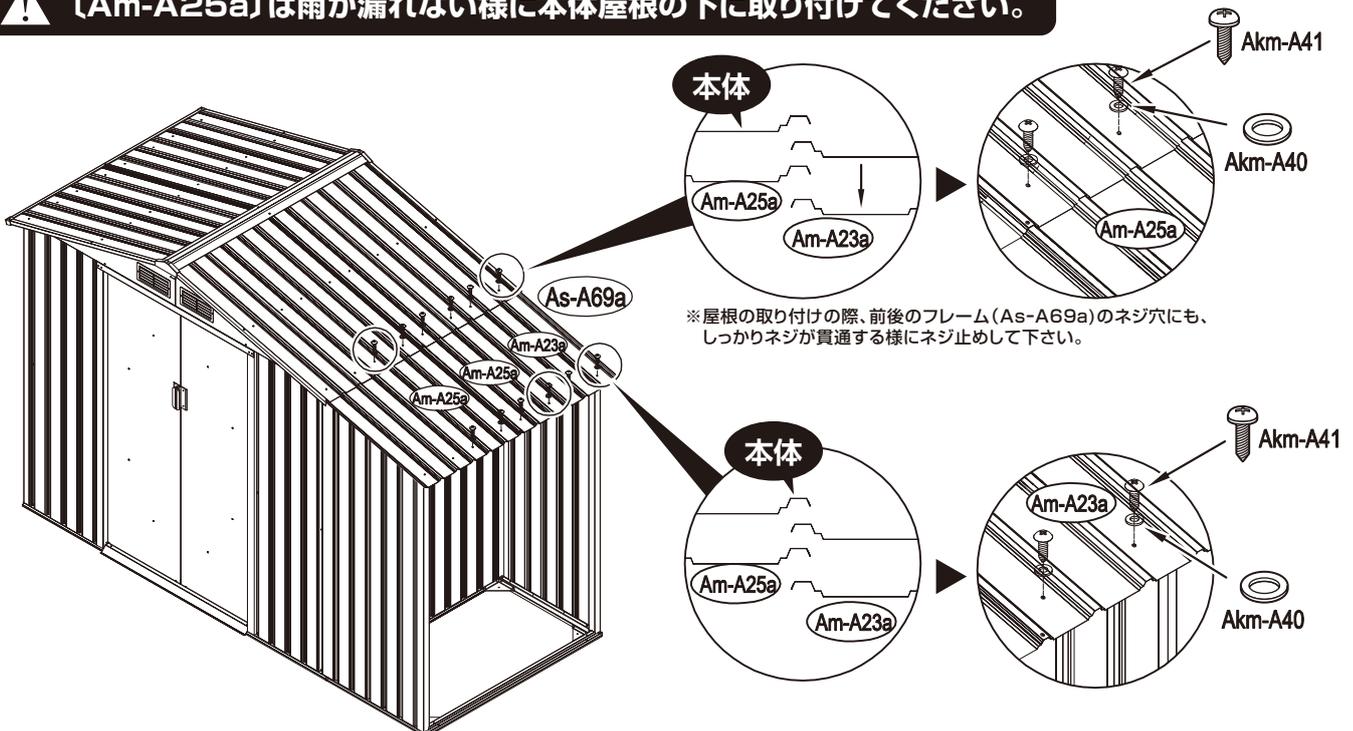
## 17 本体に〔Am-A25a〕を取り付けます。

**⚠** 〔Am-A25a〕は雨が漏れない様に本体屋根の下に取り付けてください。



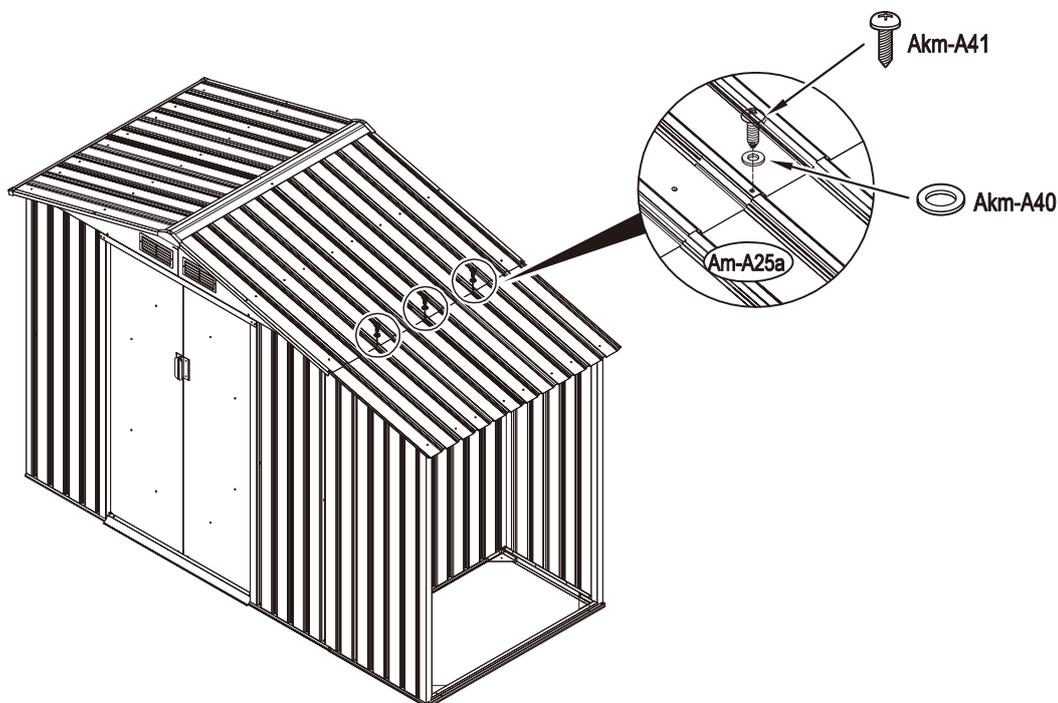
## 18 本体に〔Am-A25a〕と〔Am-A23a〕を取り付けます。

**⚠** 〔Am-A25a〕は雨が漏れない様に本体屋根の下に取り付けてください。

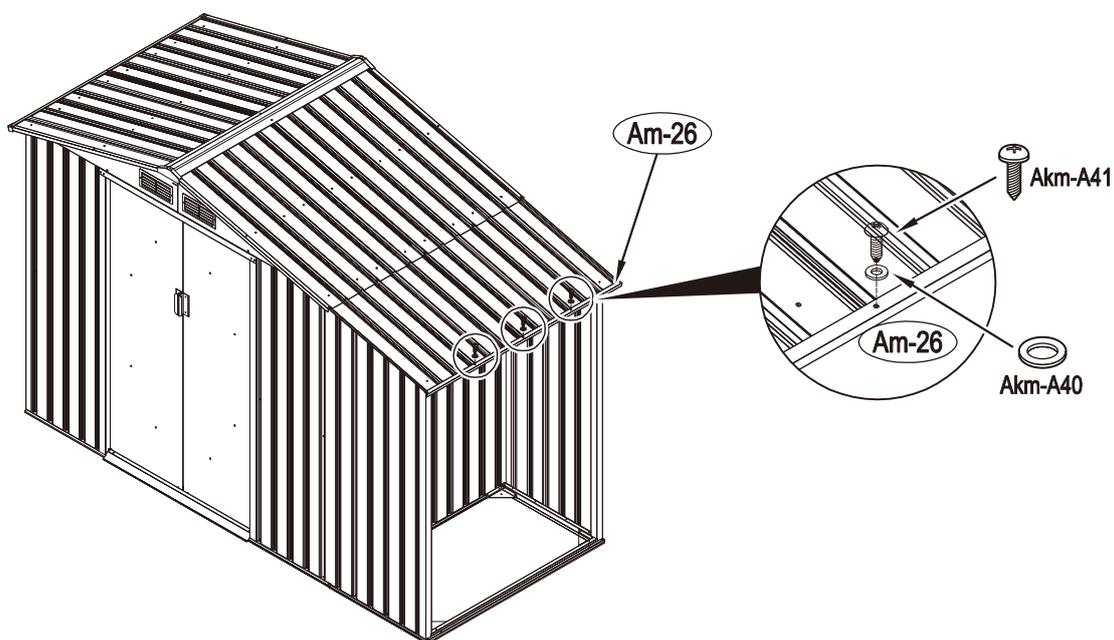


■必ず2人以上で組み立ててください。

19 本体に〔Am-A25a〕を固定します。

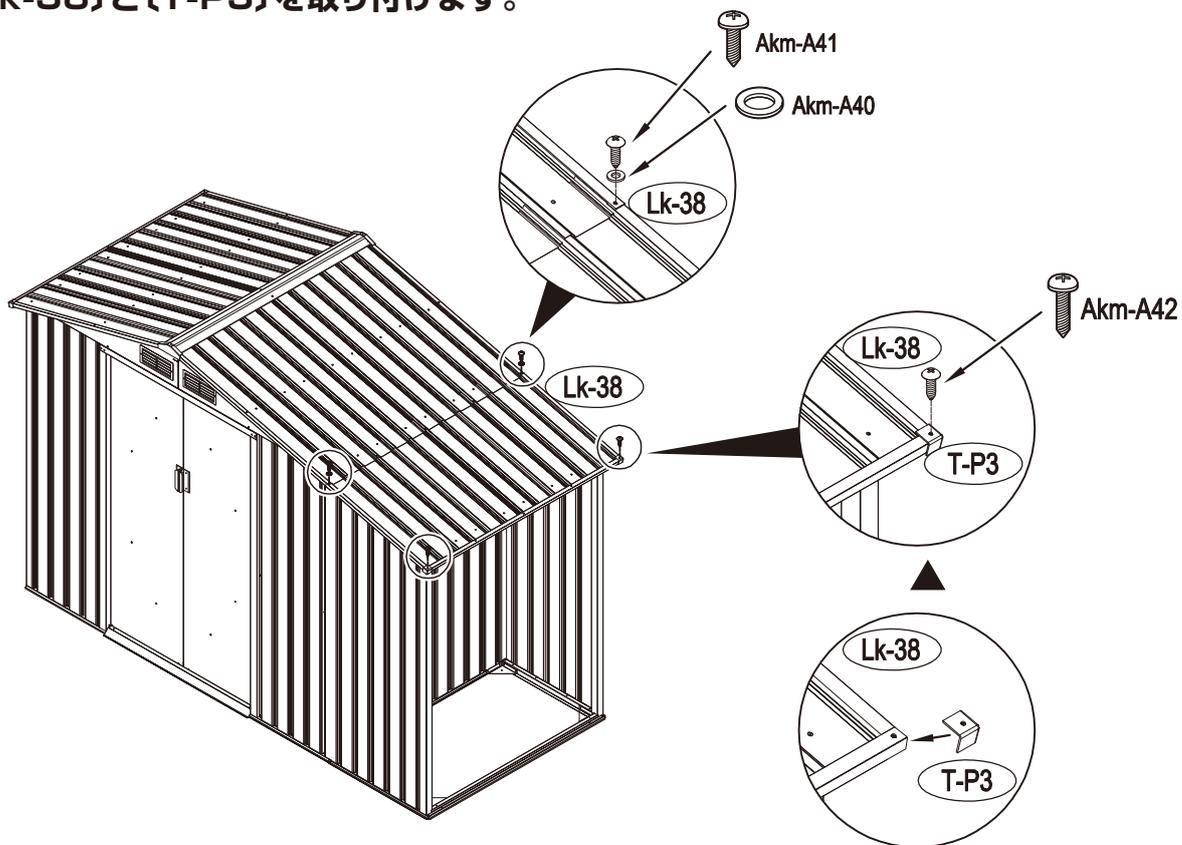


20 〔Am-26〕を取り付けます。

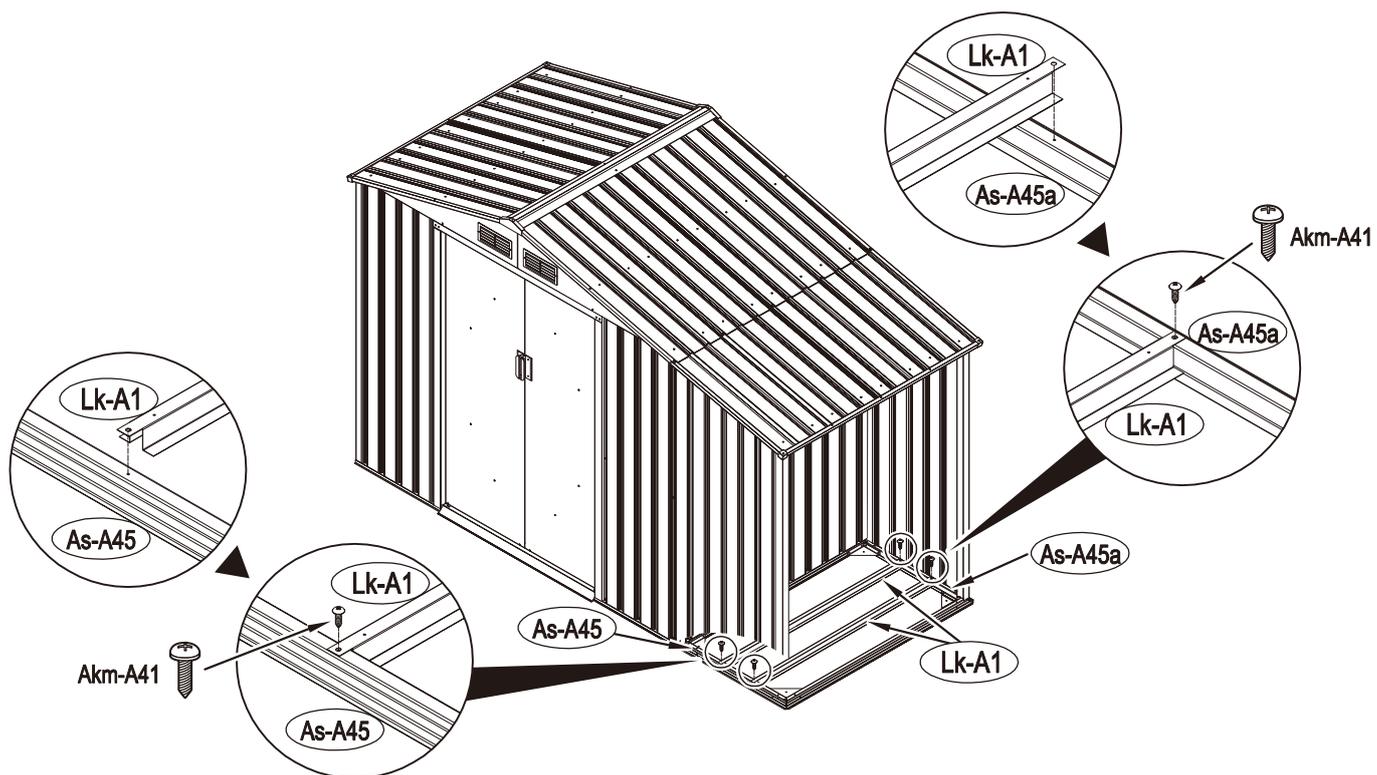


## 組み立て順序

**21** 本体に〔Lk-38〕と〔T-P3〕を取り付けます。

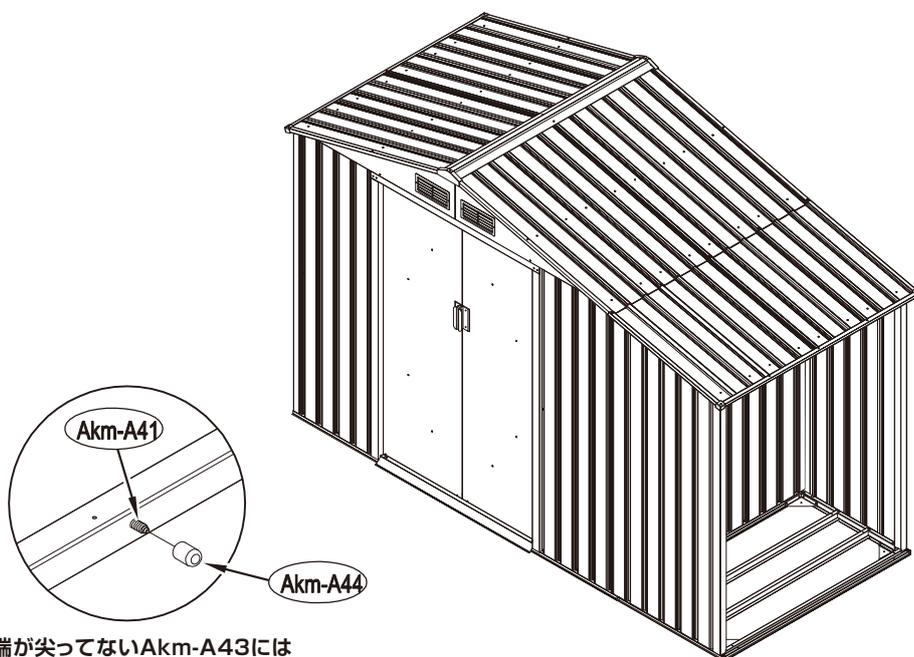


**22** 基礎フレームの〔As-A45〕と〔As-A45a〕に補強材〔Lk-A1〕を取り付けます。



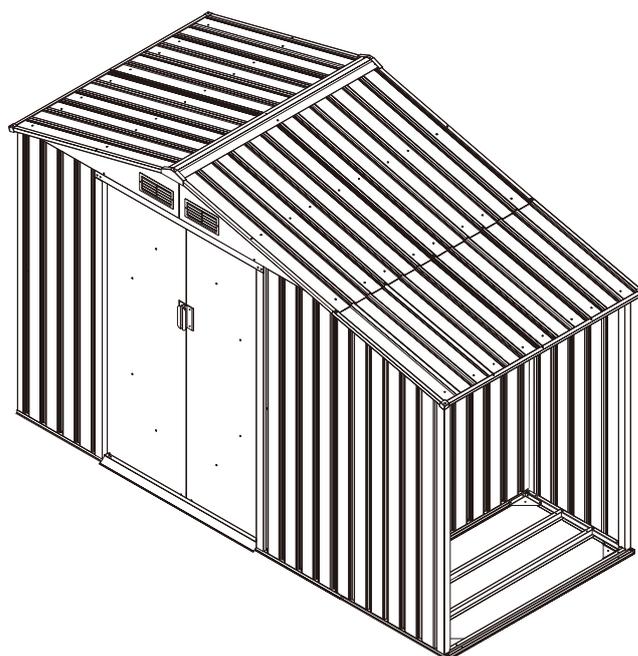
■必ず2人以上で組み立ててください。

**23** 内側に突起したネジの先端にプラスチックカバー(Akm-A44)を取り付けます。



※先端が尖ってないAkm-A43には  
取り付けの必要はありません。

**24** 全体に緩みがない事を確認して本体の完成です。



右側  
完成

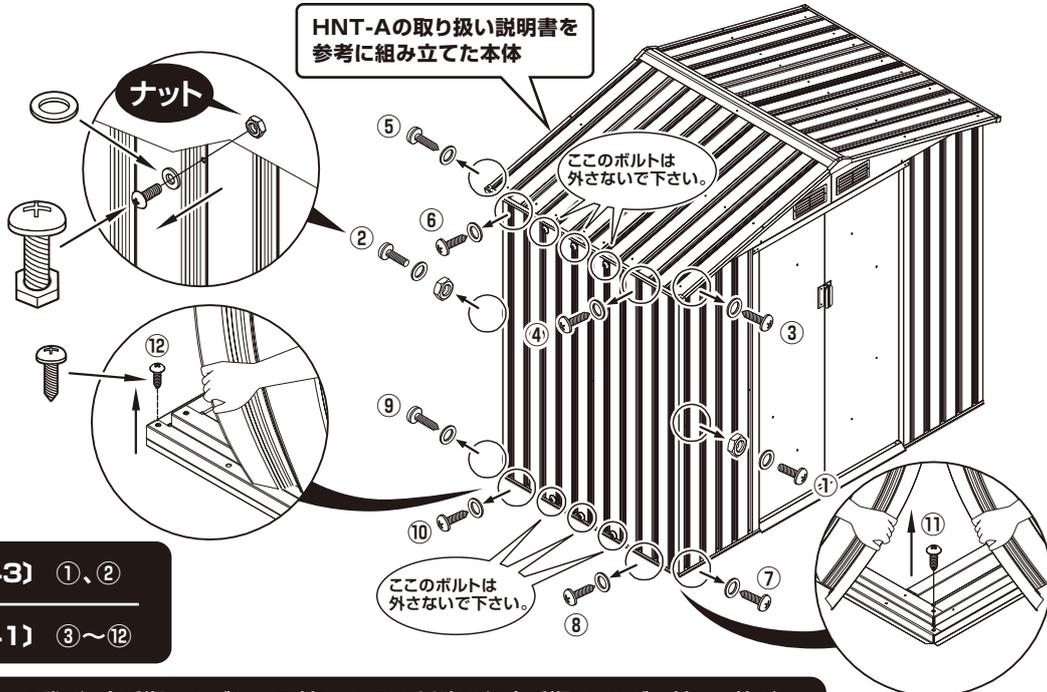
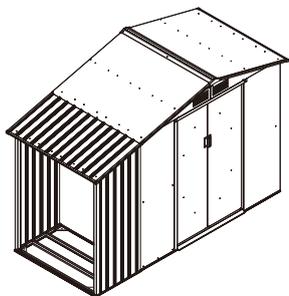
固定方法は P.27へ

# 組み立て順序

**25** 本体に取り付けられている  
①～⑫のボルトを取り外します。

**!** 外した本体用ボルト〔Am-A41、A43〕は拡張シェルターキット用ボルト〔Akm-A41、A43〕と部品Noが違うだけで同じボルトを使用しています。外した本体用ボルトは〔Akm-A41、A43〕の予備部品として活用ください。

左側に取り付ける場合



外し方



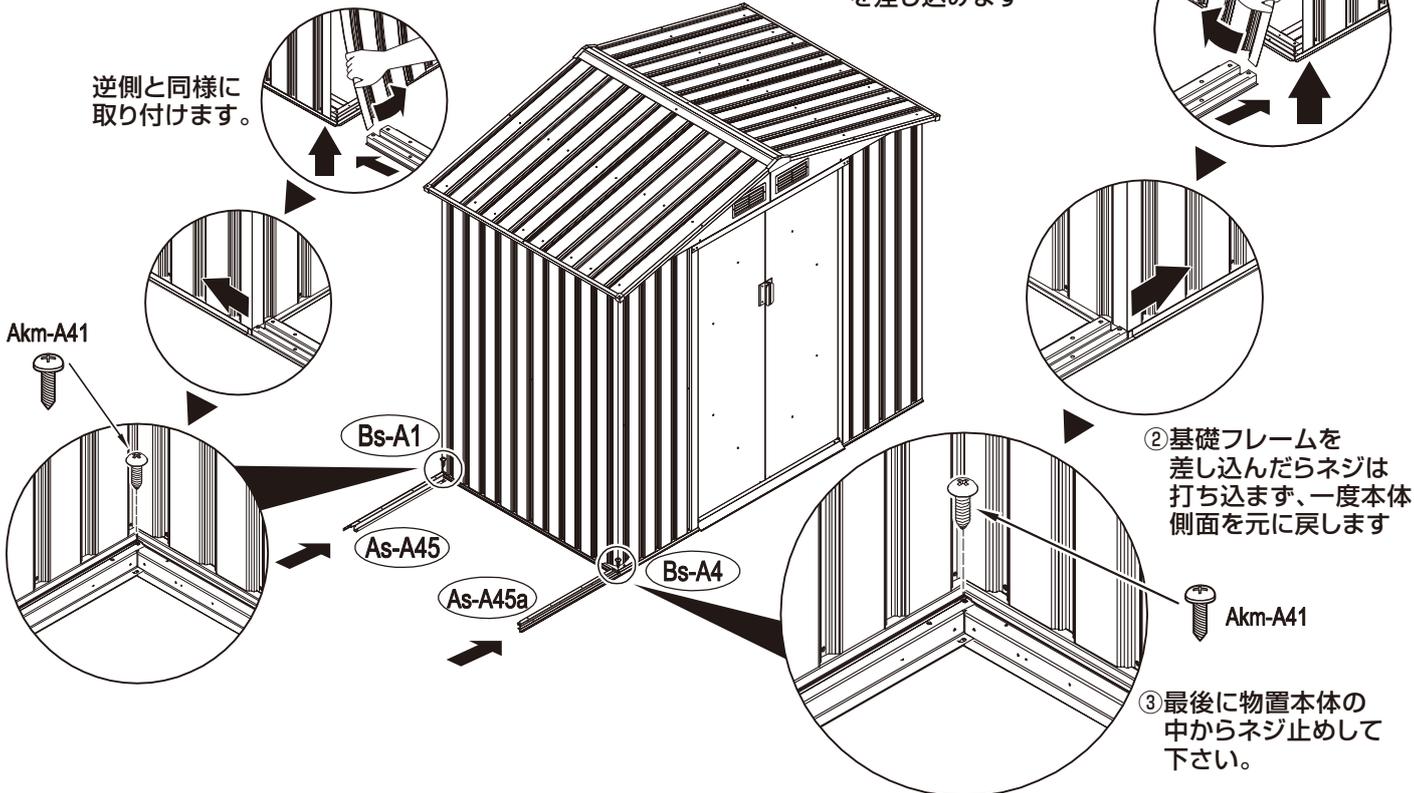
- |          |          |     |
|----------|----------|-----|
| <b>!</b> | 〔Am-A43〕 | ①、② |
|          | 〔Am-A41〕 | ③～⑫ |

**!** 拡張シェルターキットを取り付けする際、組立手順でネジを一回外して、それ以降の組立手順で、ネジを外した箇所に再度ネジを打ち込む作業が発生致します。※ネジ穴(ネジを外した箇所のみ)が大きくなる可能性があります。ネジ噛み合わせが悪かった場合は、ワンサイズ大きいネジ(市販品)をホームセンターなどでご購入頂き、打ち込み下さい。

**26** 〔Bs-A4〕に〔As-A45a〕を差し込みます。  
同様に〔Bs-A1〕に〔As-A45〕を差し込みます。

①前後、片方ずつ基礎フレーム〔As-A45〕と〔As-A45a〕を差し込みます

逆側と同様に  
取り付けます。

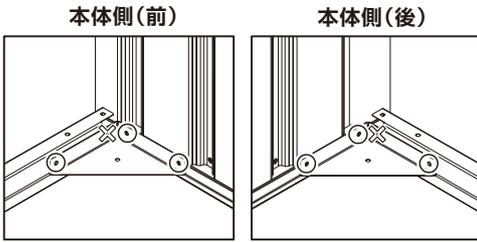


②基礎フレームを差し込んだらネジは打ち込まず、一度本体側面を元に戻します

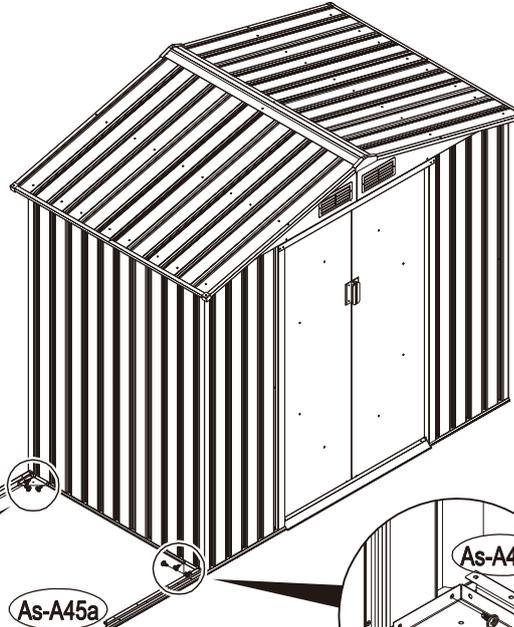
③最後に物置本体の中からネジ止めして下さい。

■必ず2人以上で組み立ててください。

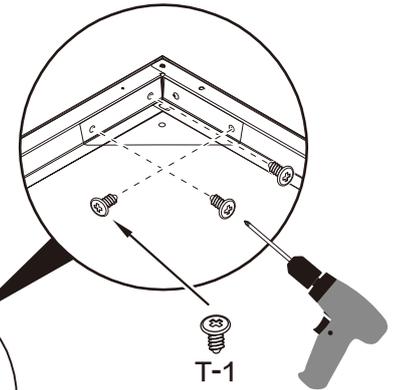
## 27 基礎フレームのコーナに(T-F)コーナプレートを取り付けます。



物置本体側に接する2枚のコーナプレート取り付けは、3箇所ネジ止めになります。  
※コーナプレートには4箇所穴がありますが、3箇所のネジ止め  
※ネジ(T-1)1個の余りは予備部品として保管下さい。

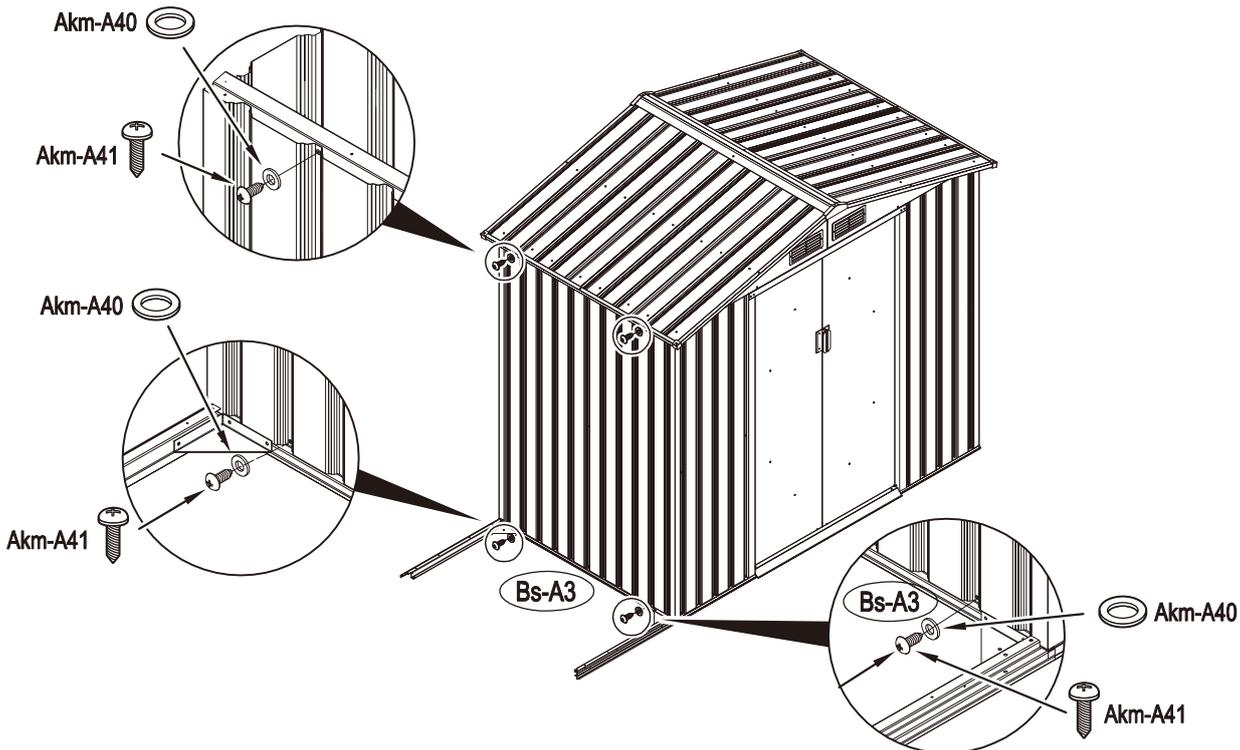


※コーナプレートを取り付ける際基礎フレーム側に穴が開いていないので電動ドライバーを使用してネジ込みください。



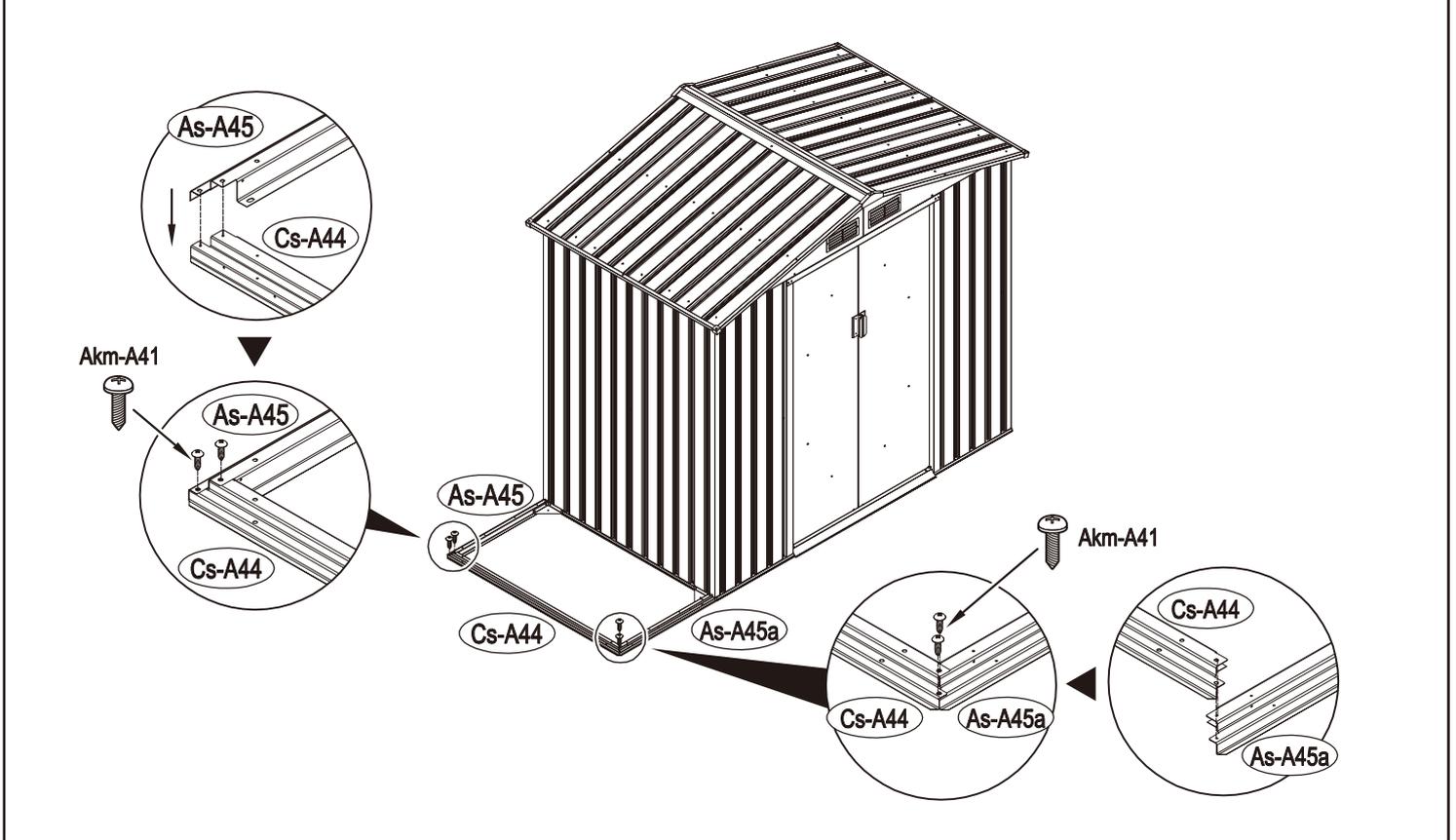
X2

## 28 側板の上下4箇所のボルトを取り付けます。



# 組み立て順序

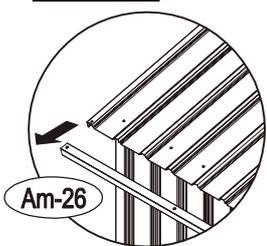
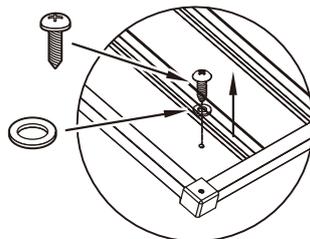
**29** (As-A45)と(As-A45a)に(Cs-A44)を取り付けます。



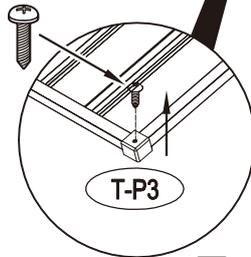
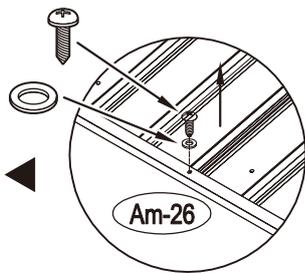
**30** 本体の下記箇所よりボルトを取り外します。

**!** 拡張シェルターキットを取り付けする際、組立手順でネジを一回外して、それ以降の組立手順でネジを外した箇所に再度ネジを打ち込む作業が発生致します。\*ネジ穴(ネジを外した箇所のみ)が大きくなる可能性があります。ネジ噛み合わせが悪かった場合は、ワンサイズ大きいネジ(市販品)をホームセンターなどでご購入頂き、打ち込み下さい。

外し方

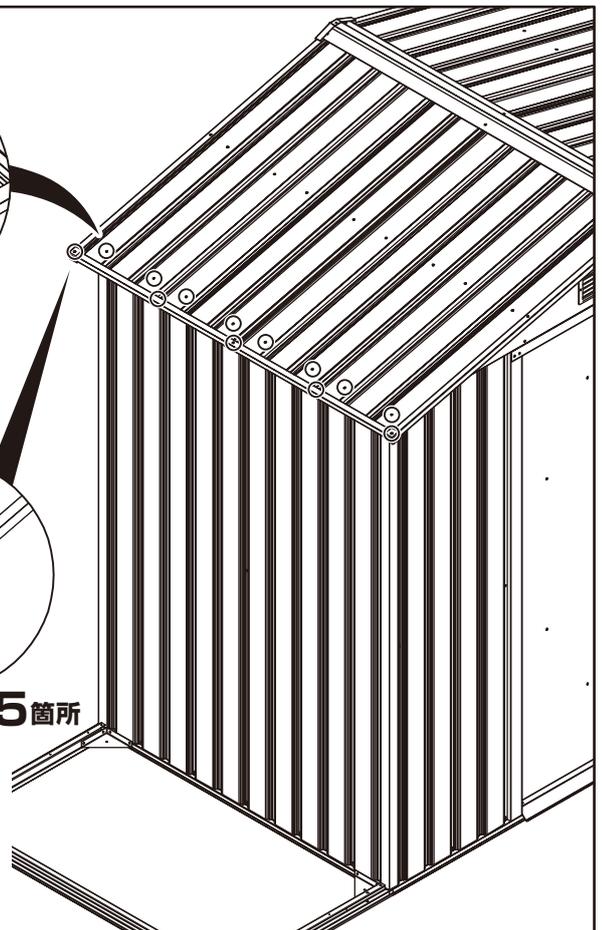


取り外した白いフレーム(Am-26)は以降使用しません。保管下さい。



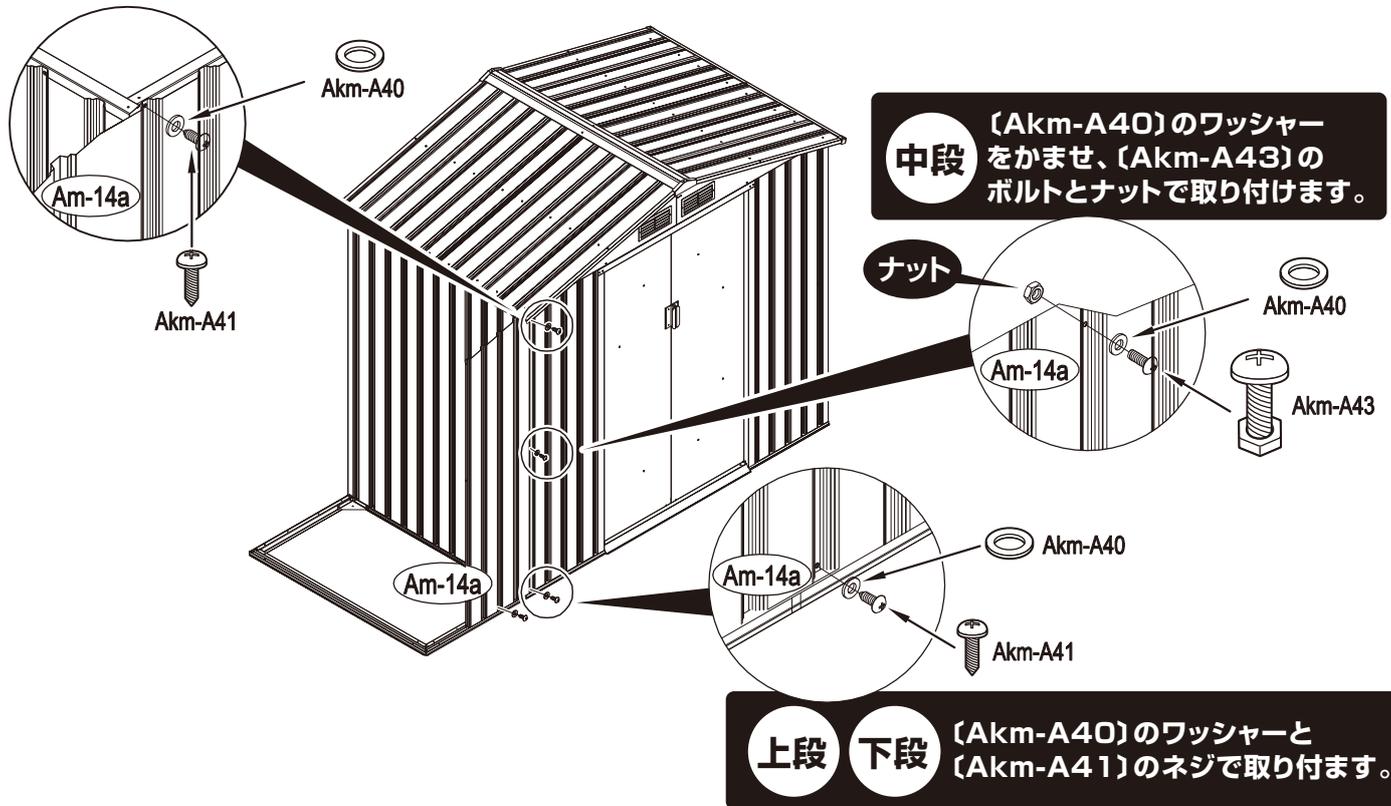
白いフレーム部分**5**箇所ボルトを外します。

**!** 外した本体用ボルト(Am-A41、A42)は拡張シェルターキット用ボルト(Akm-A41、A42)と部品Noが違うだけで同じボルトを使用しています。外した本体用ボルトは(Akm-A41、A42)の予備部品として活用ください。

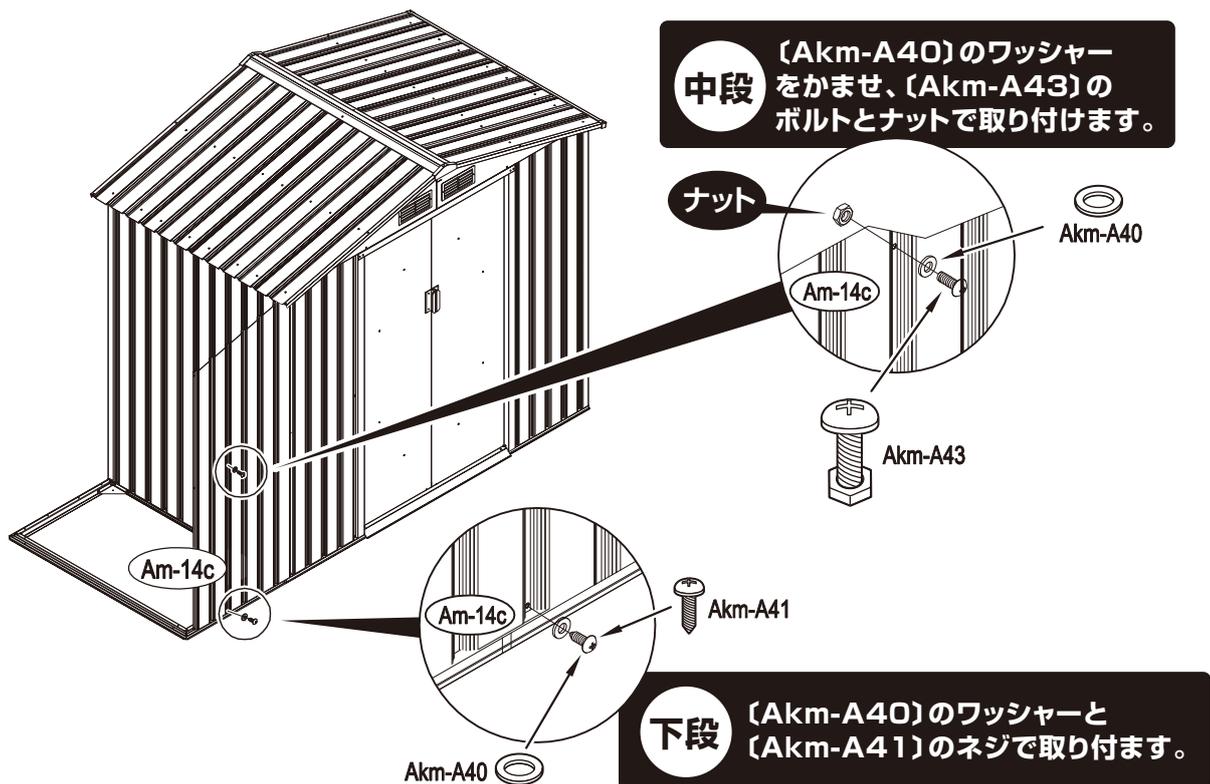


■必ず2人以上で組み立ててください。

**31** 本体に〔Am-14a〕の壁面パネルを取り付けます。

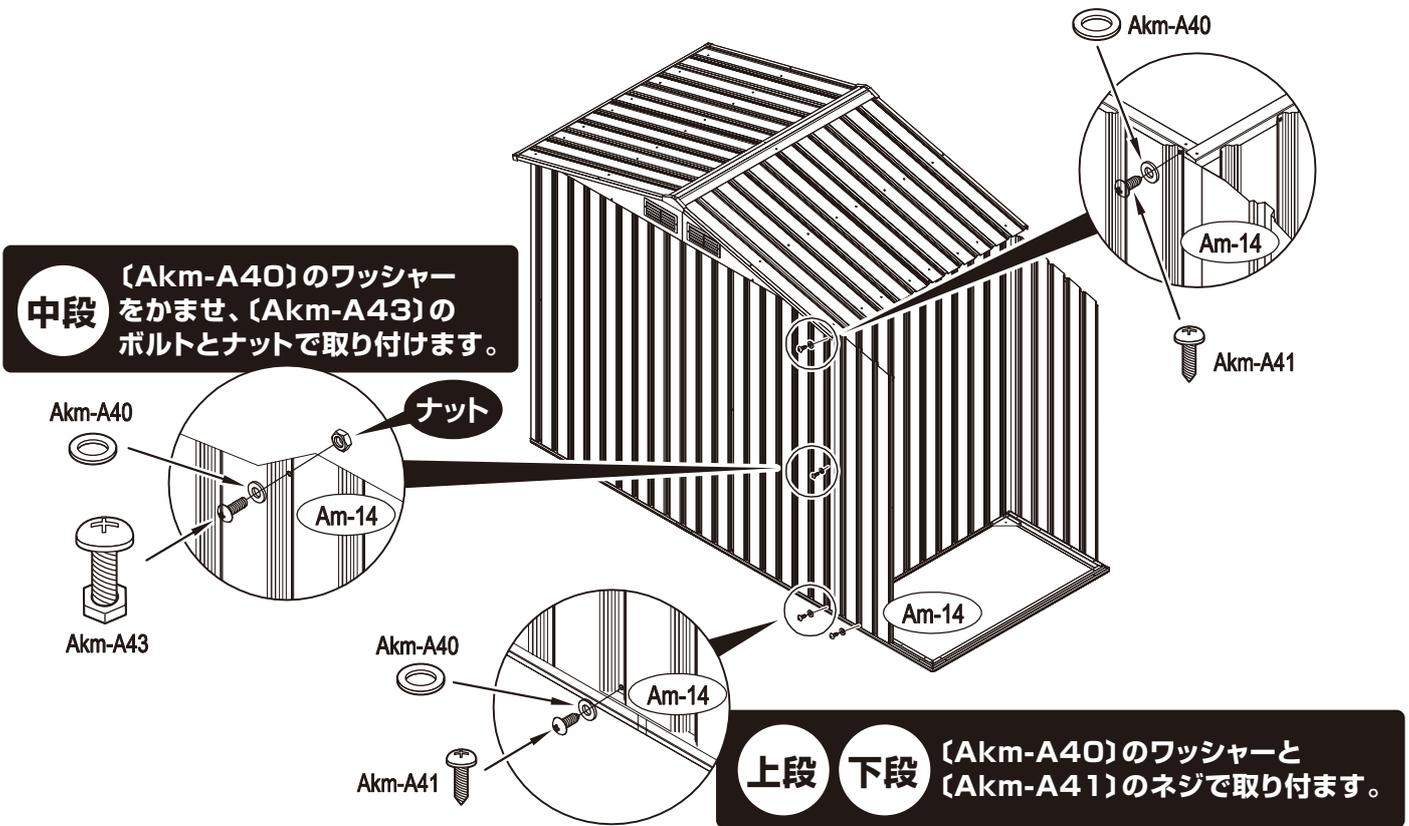


**32** 〔Am-14a〕の壁面パネルに〔Am-14c〕を取り付けます。

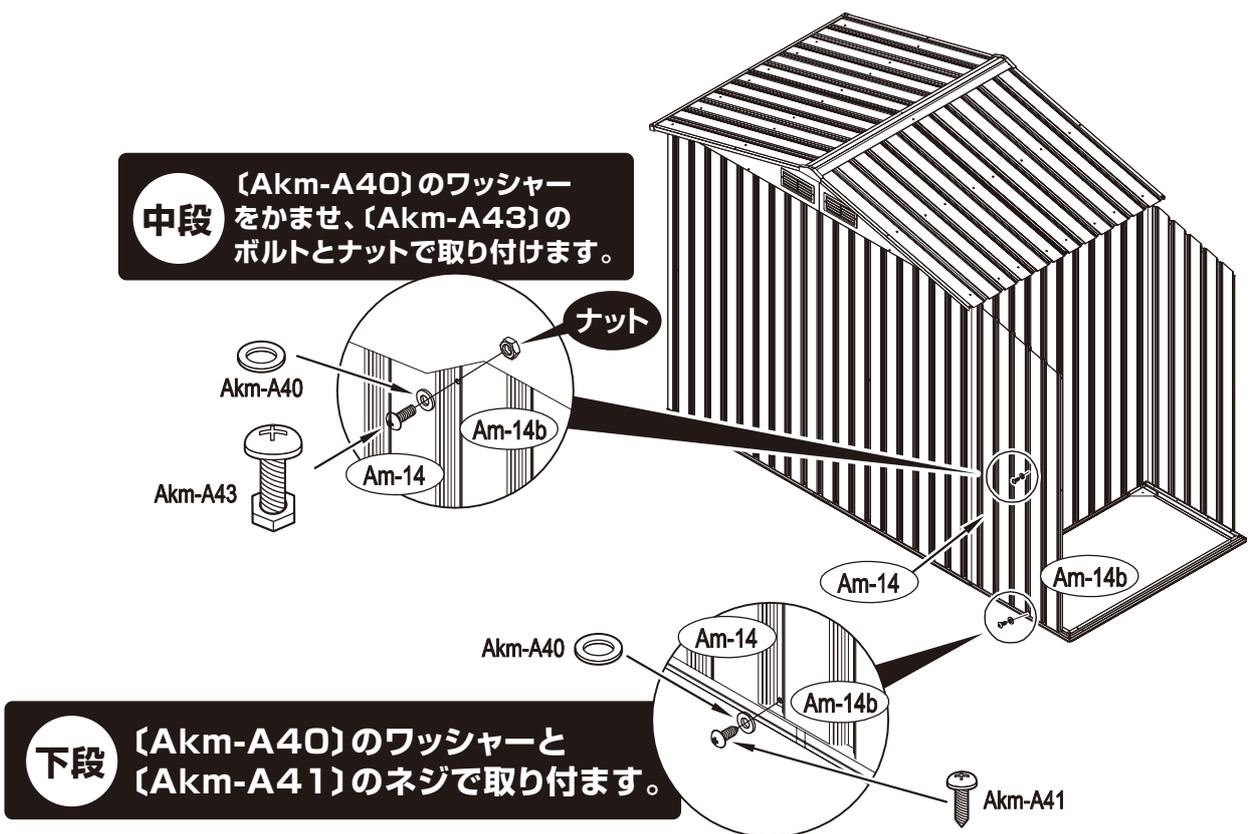


# 組み立て順序

**33** 本体に〔Am-14〕の壁面パネルを取り付けます。

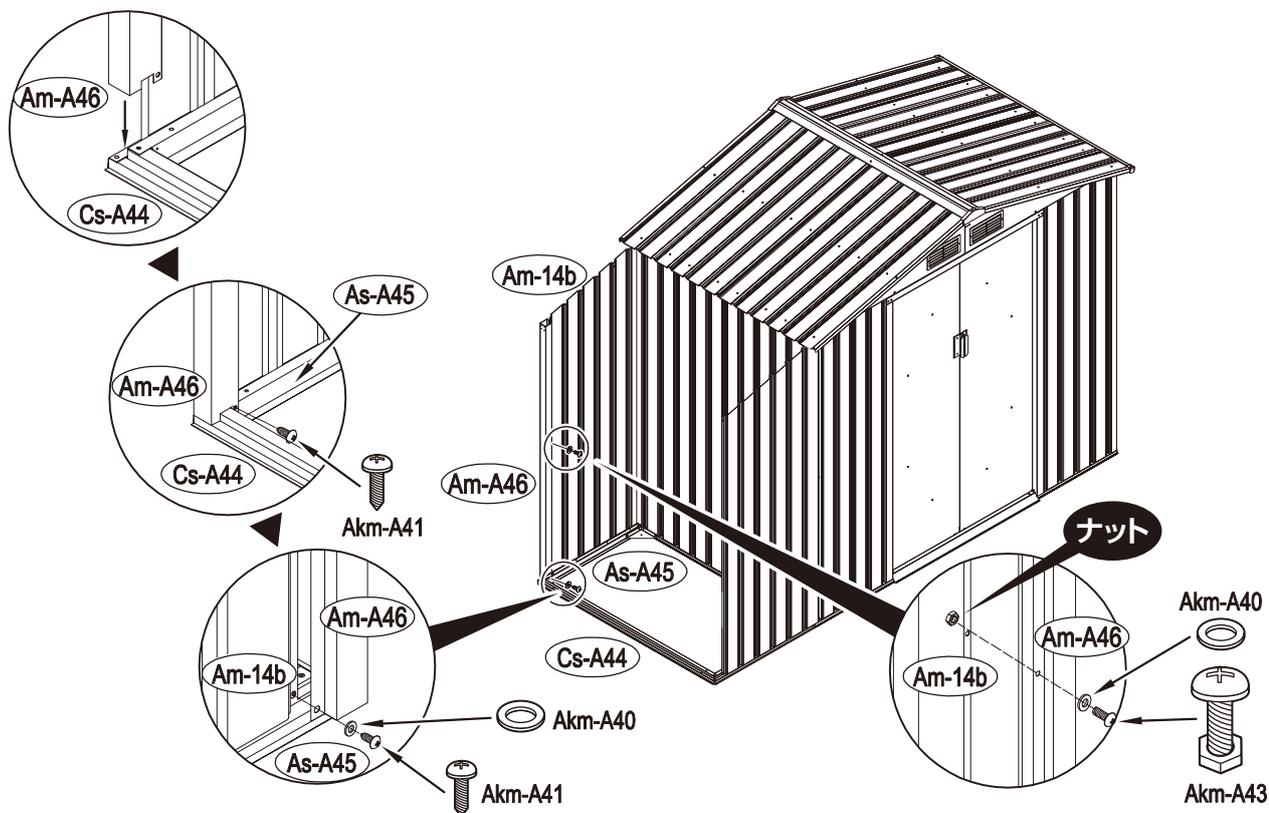


**34** 〔Am-14〕の壁面パネルに〔Am-14b〕を取り付けます。

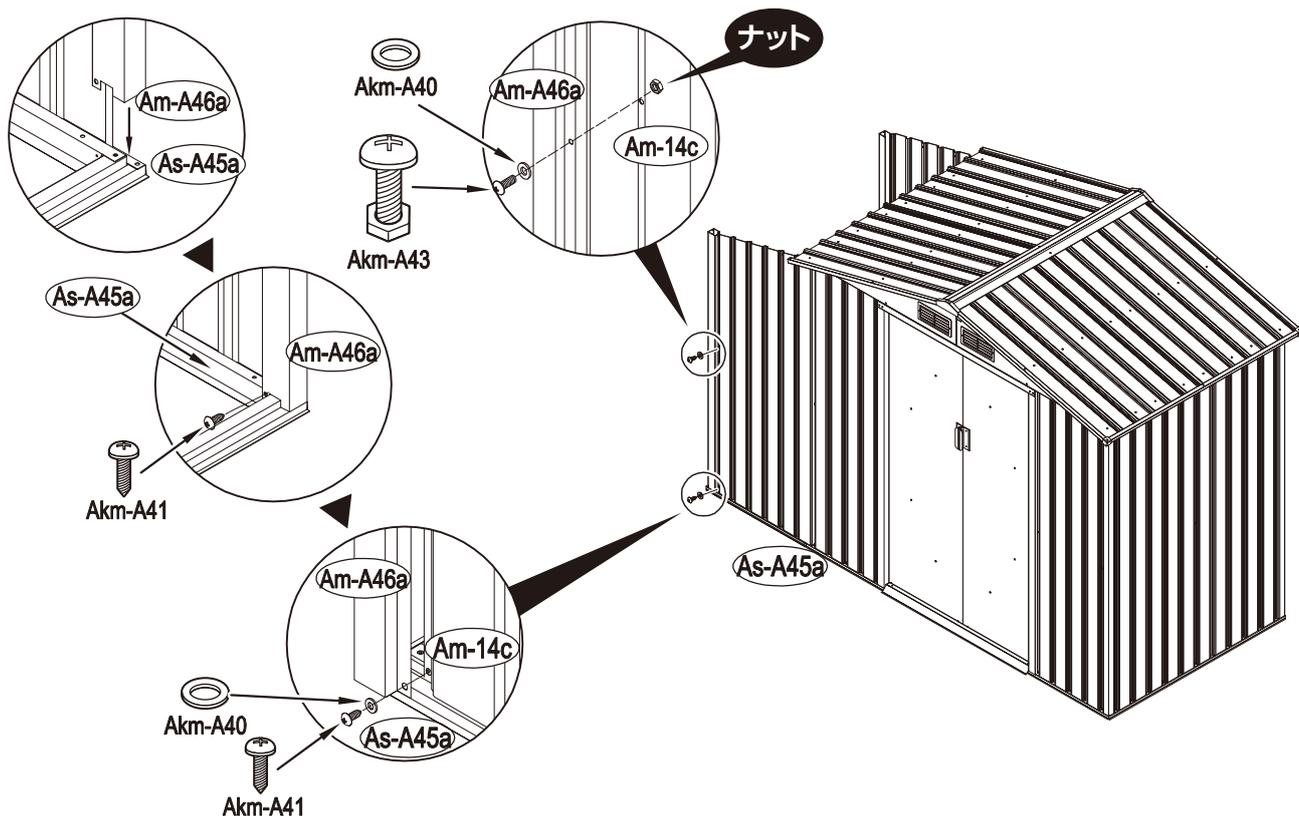


■必ず2人以上で組み立ててください。

35 (Am-14b)の壁面パネルに(Am-A46)を取り付けます。

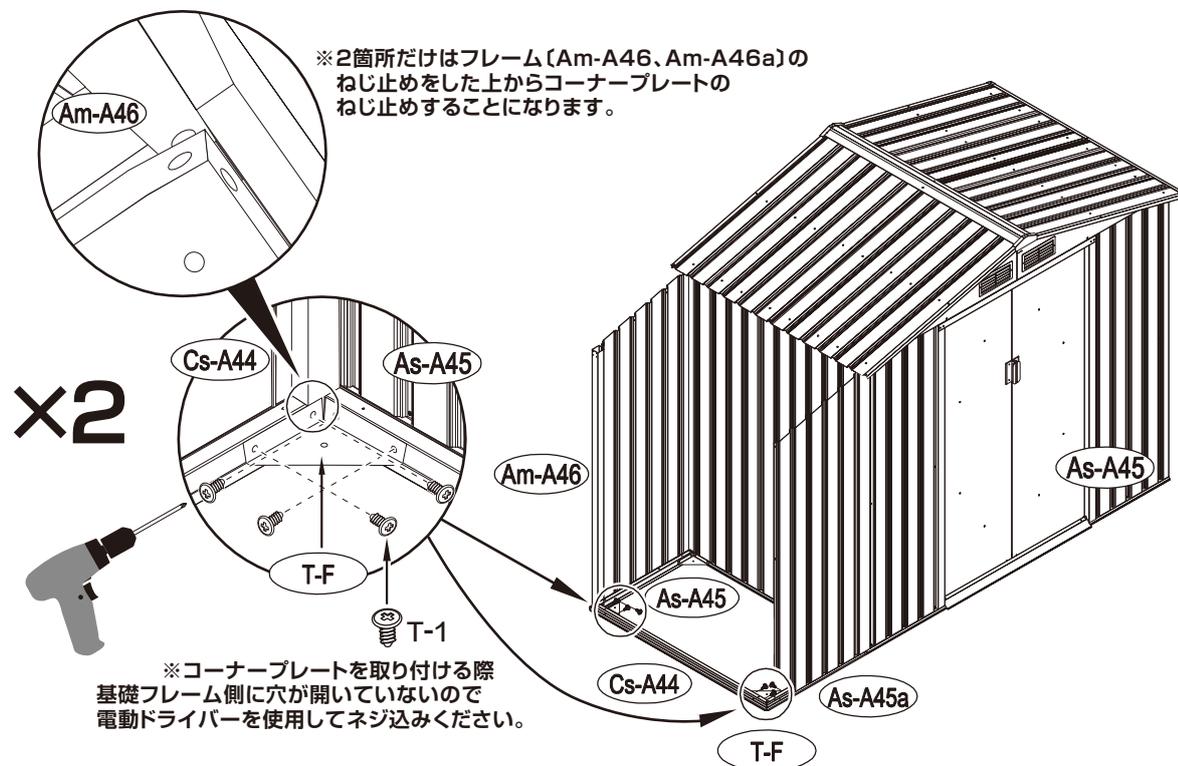


36 (Am-14c)の壁面パネルに(Am-A46a)を取り付けます。

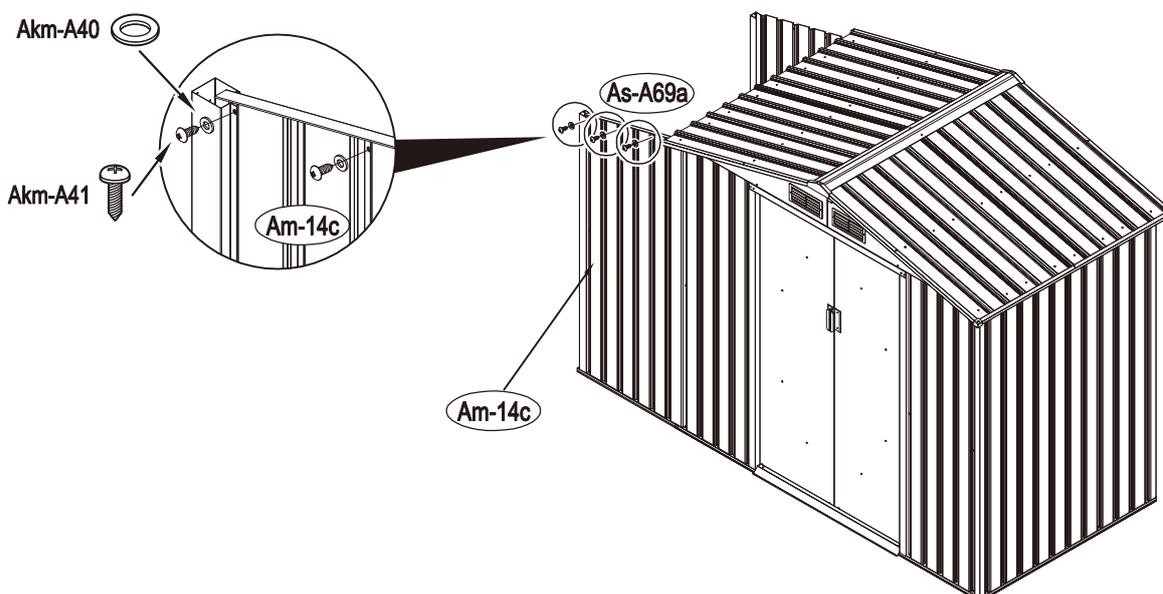


## 組み立て順序

### 37 基礎フレームのコーナーに〔T-F〕コーナープレートを取り付けます。

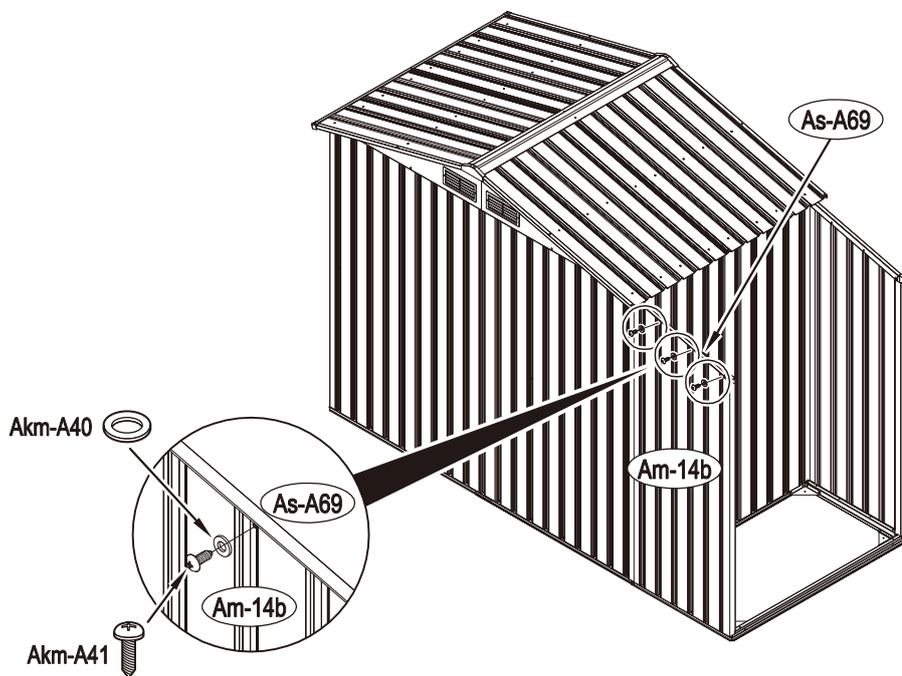


### 38 〔Am-14c〕の壁面パネルに〔As-A69a〕を取り付けます。

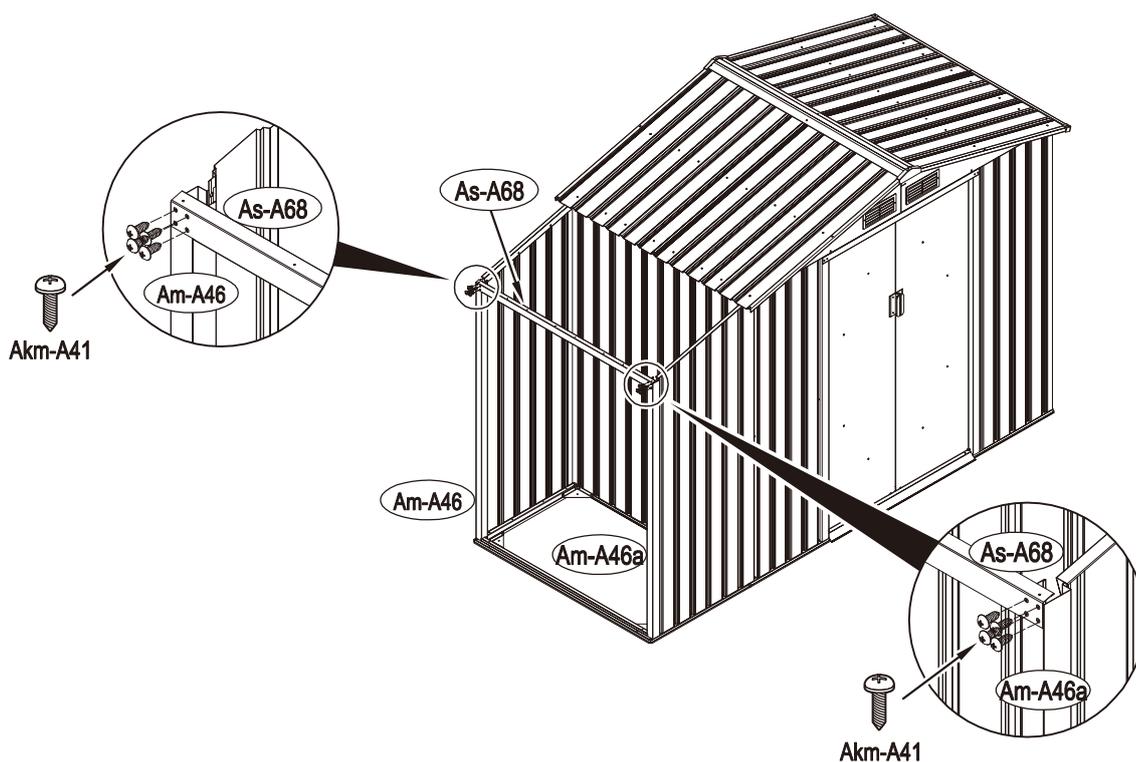


■必ず2人以上で組み立ててください。

39 (Am-14b)の壁面パネルに(As-A69)を取り付けます。

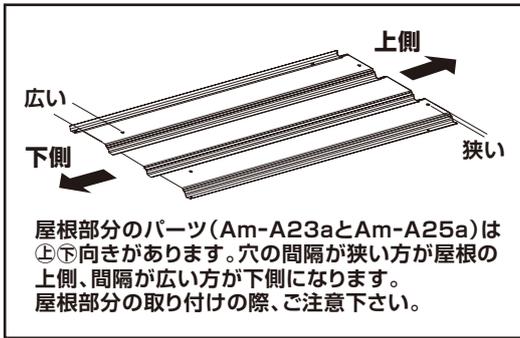


40 (Am-A46)と(Am-A46a)に(As-A68)を取り付けます。

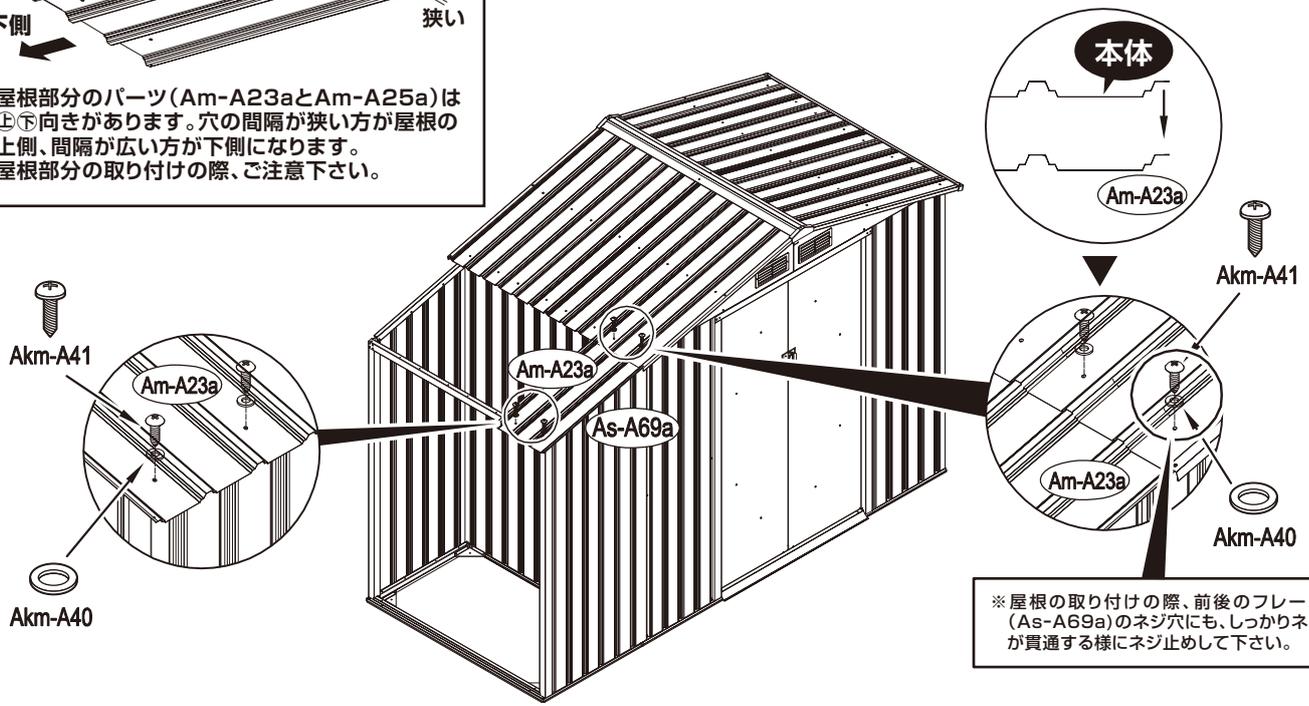


# 組み立て順序

## 41 本体に〔Am-A23a〕を取り付けます。

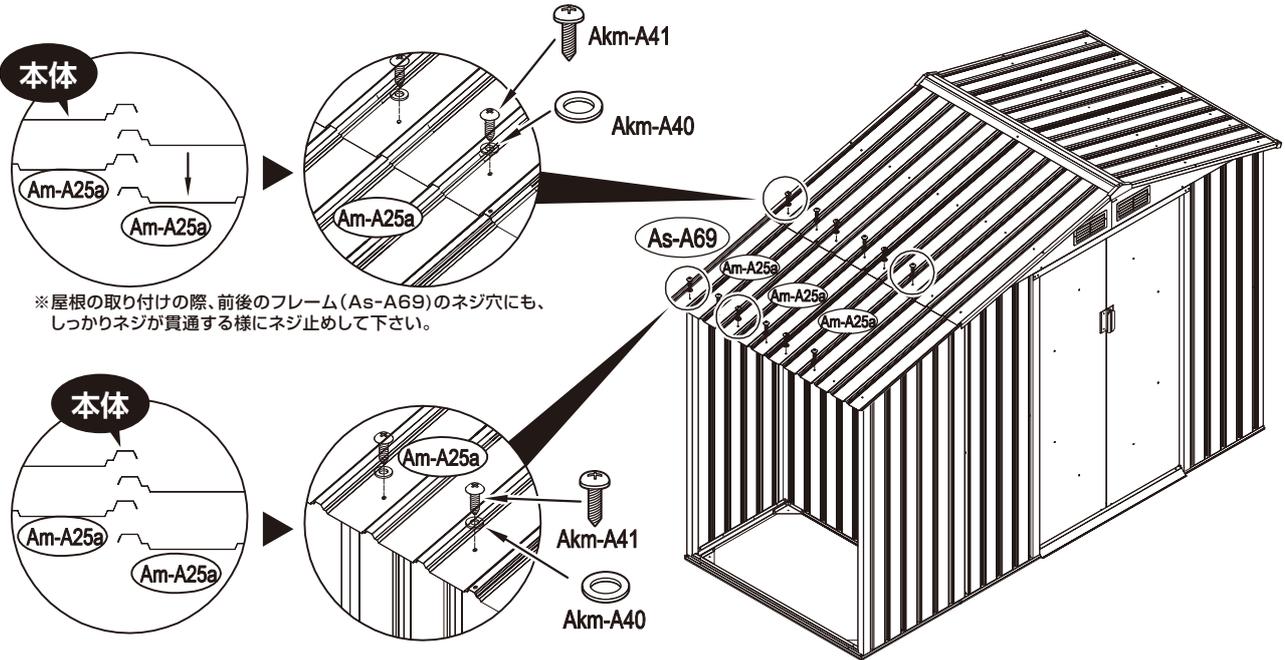


**⚠**〔Am-A23a〕は雨が漏れない様に本体屋根の下に取り付けてください。



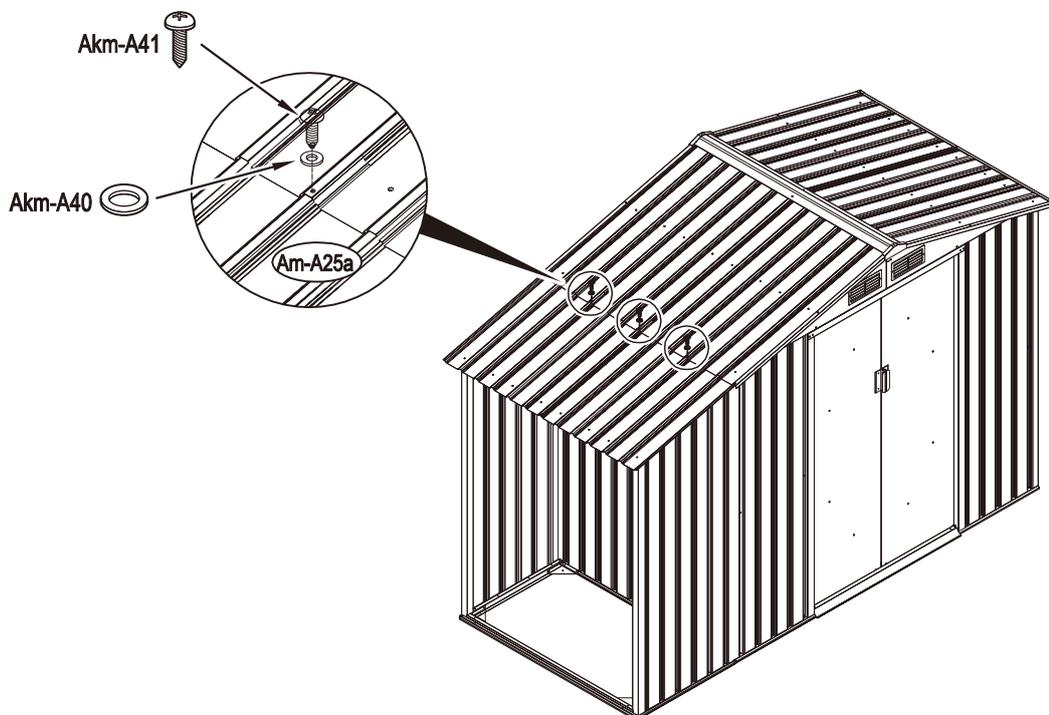
## 42 本体に〔Am-A25a〕を取り付けます。

**⚠**〔Am-A25a〕は雨が漏れない様に本体屋根の下に取り付けてください。

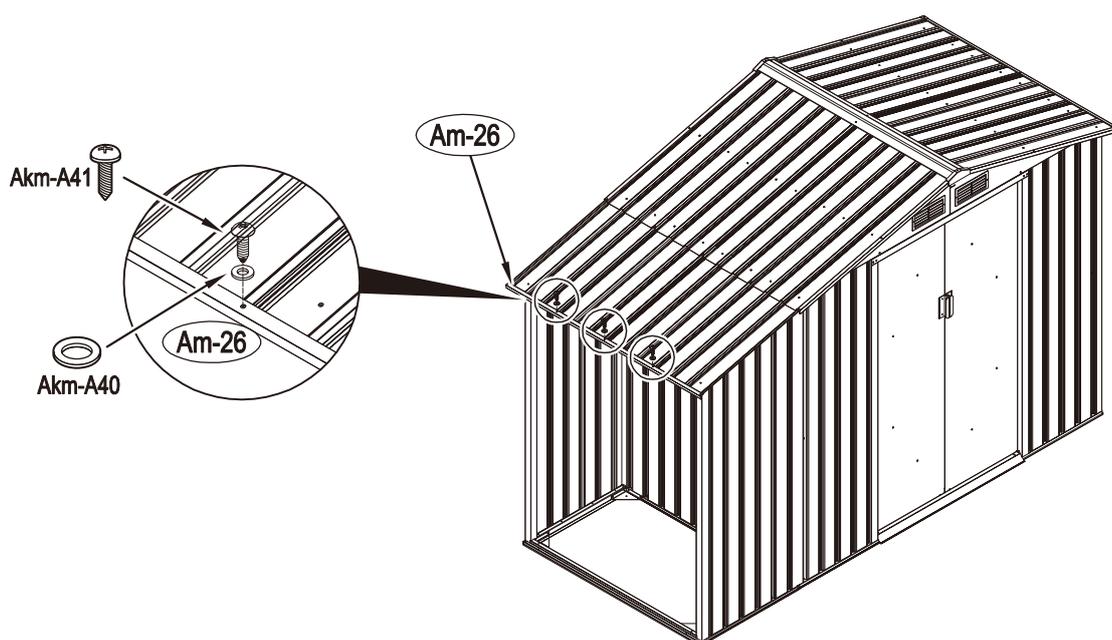


■必ず2人以上で組み立ててください。

**43** 本体に〔Am-A25a〕を固定します。



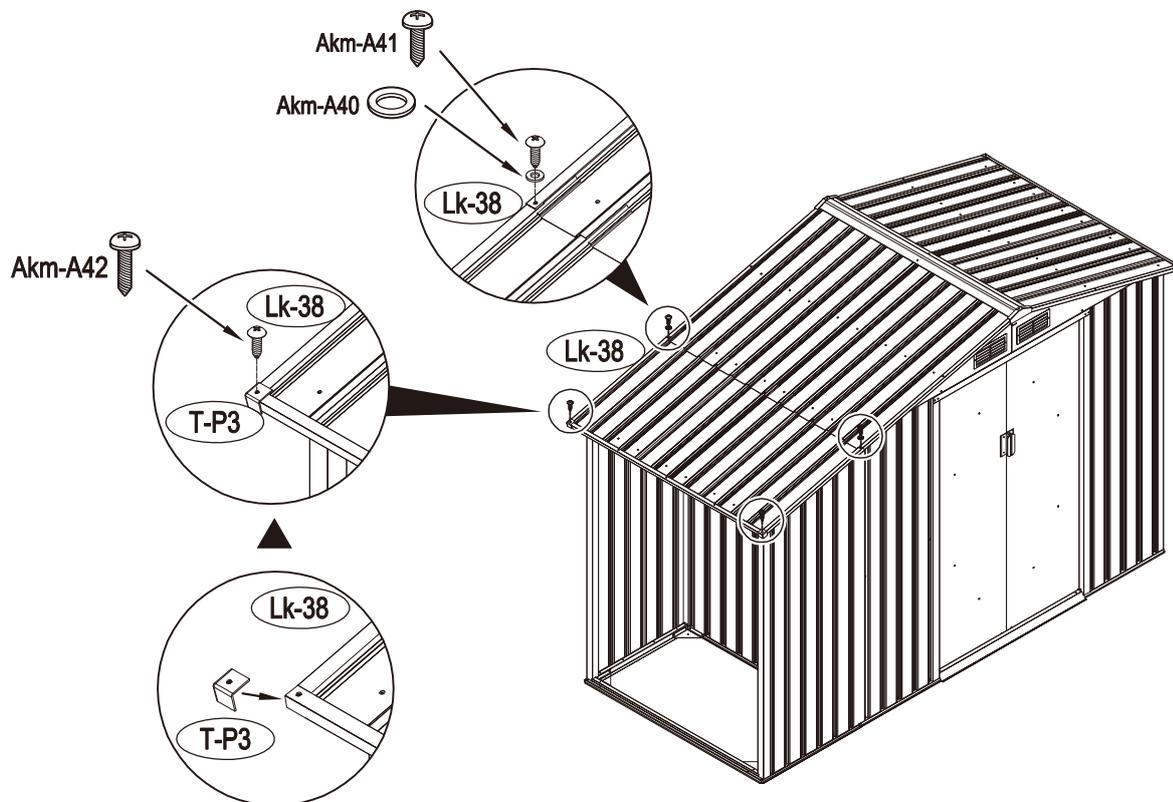
**44** 〔Am-26〕を取り付けます。



## 組み立て順序

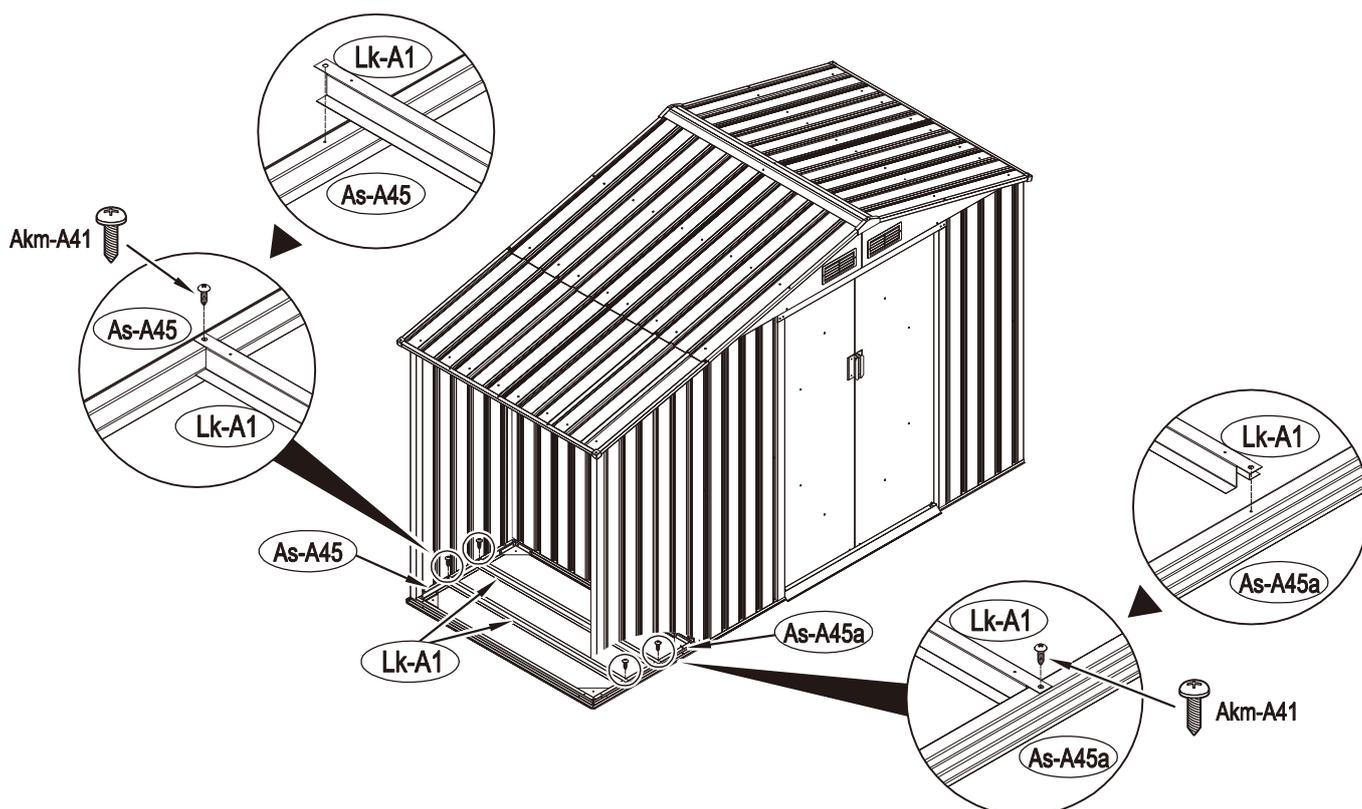
45

本体に〔Lk-38〕と〔T-P3〕を取り付けます。



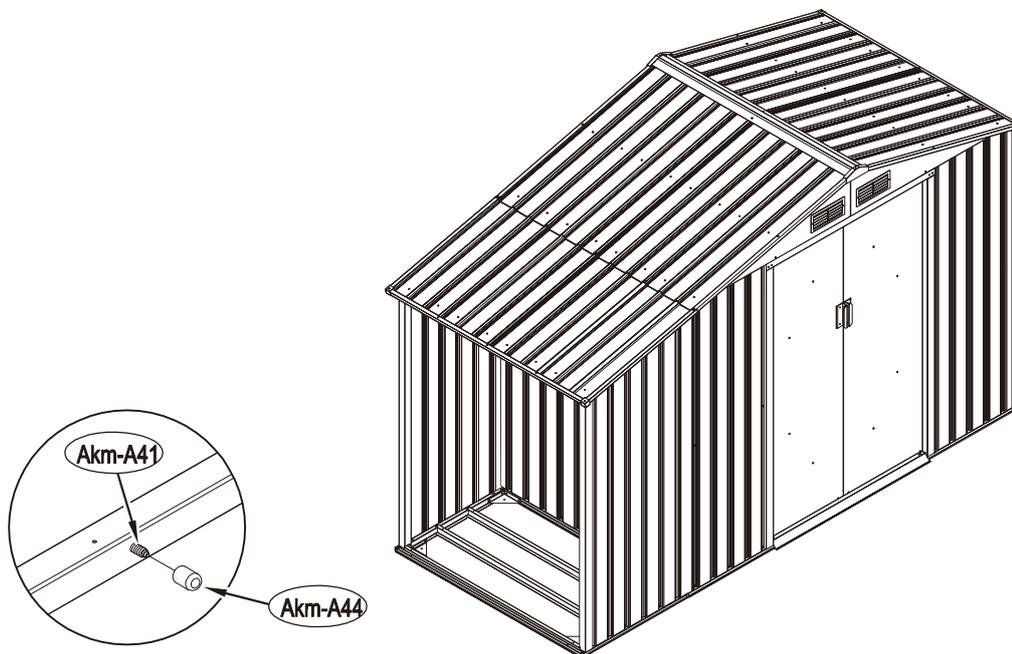
46

基礎フレームの〔As-A45〕と〔As-A45a〕に補強材〔Lk-A1〕を取り付けます。



■必ず2人以上で組み立ててください。

**47** 内側に突起したネジの先端にプラスチックカバー(Akm-A44)を取り付けます。



※先端が尖ってないAkm-A43には  
取り付けの必要はありません。

**48** 全体に緩みがない事を確認して本体の完成です。



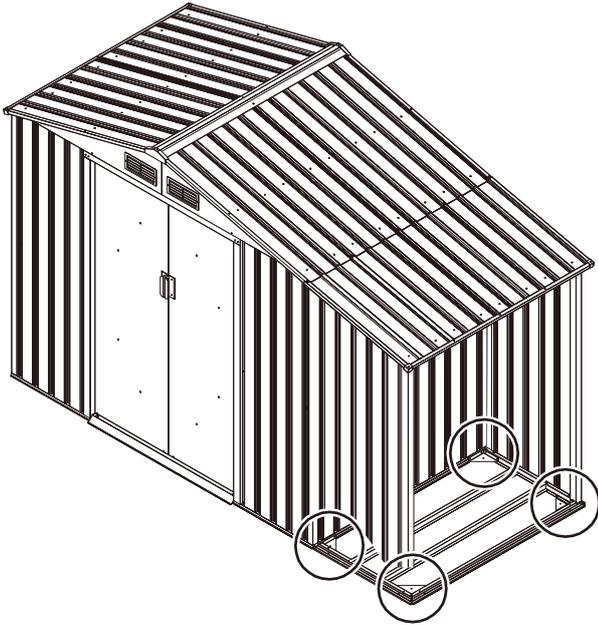
左側  
完成

固定方法は P.27へ

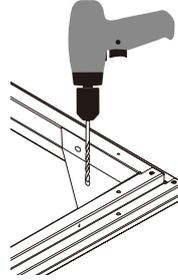
## 組み立て順序

### コンクリート・アスファルト面への設置

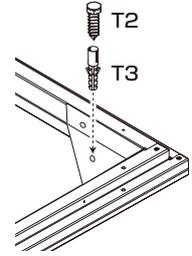
**!** コンクリート、アスファルト面への設置用にケミカルアンカー（部品No.T2・T3）を付属しておりますが、より強力なアンカーボルトをご要望の際は、ホームセンターなどで市販品をご購入下さい。  
※また、大きいアンカーボルトを使用する場合、お客様でコーナープレート（部品No.T-F）の穴を広げる加工作業が必要になります。



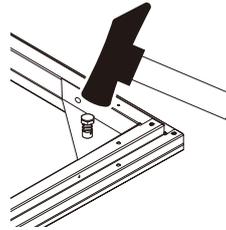
① コンクリートドリルで穴あけします。



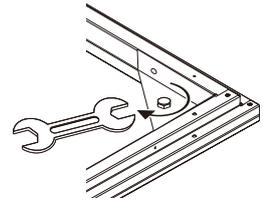
② T2・T3ケミカルアンカーを差し込みます。



③ ケミカルアンカーをハンマーで叩き込みます。



④ 最後にスパナでしっかり締め付けてください。

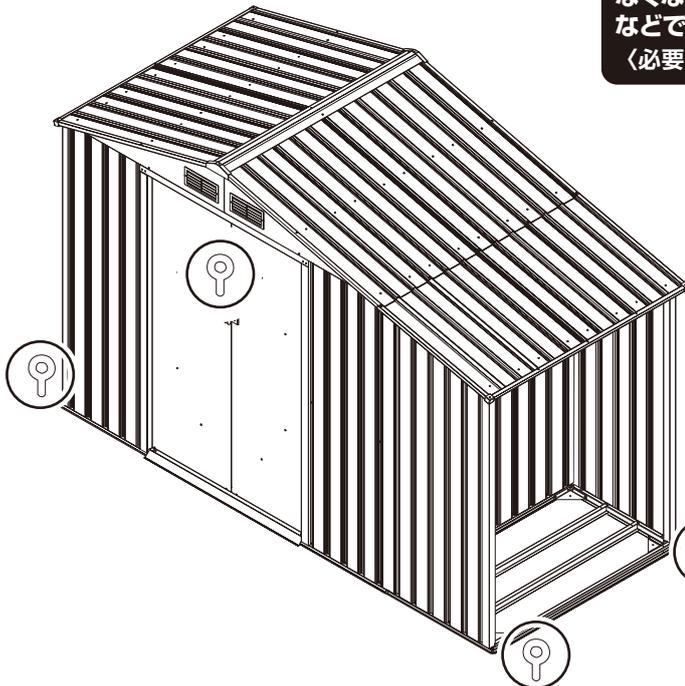


### 土の面への設置

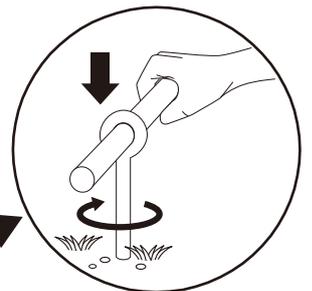
〈用意する物〉ハンマー、棒状の物

① スチール屋根型物置の周り4カ所に土用アンカーを設置します。

**!** 本体を先に完成させて、後から拡張シェルターキットを追加した際、本体用で既にワイヤーを使用していた場合に限り、ワイヤーが足りなくなるケースが考えられます。その際は、お手数ですがホームセンターなどで同じ形状のワイヤーをご購入下さい。  
〈必要なワイヤーの長さ：約20m（目安）〉



〔ハンマー〕

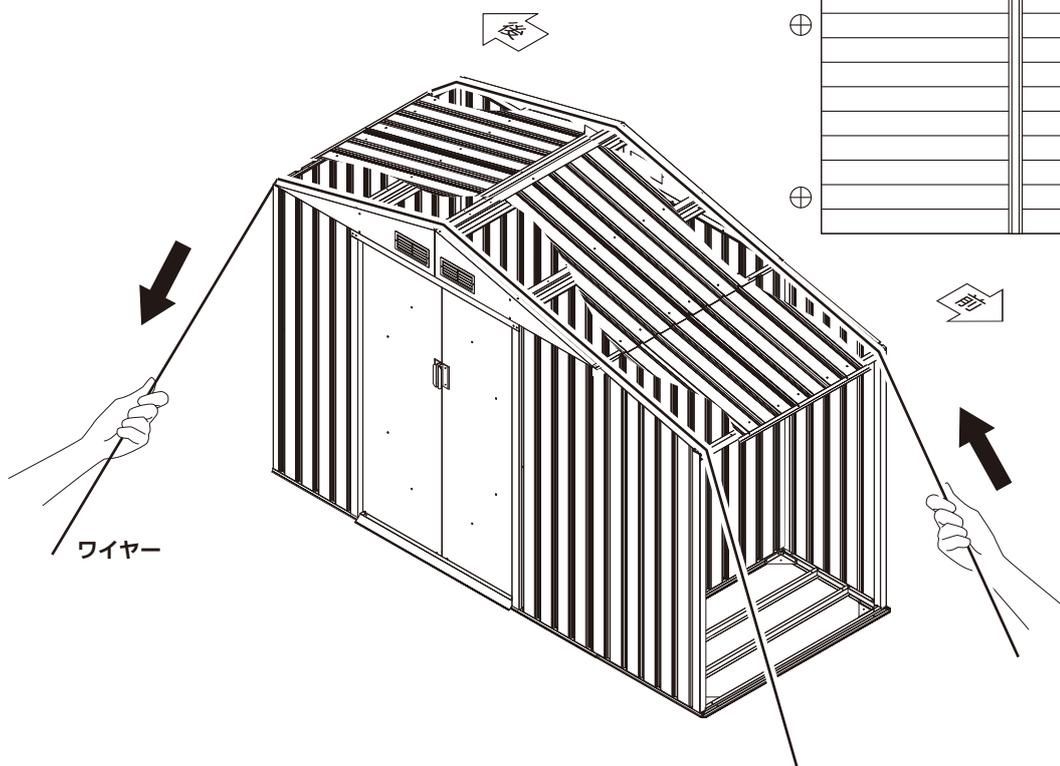


お手元の棒状の物でねじ込んでください。

**×4**

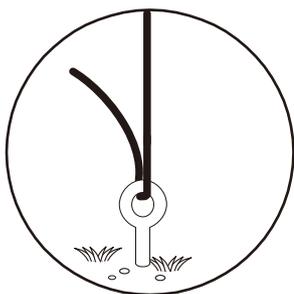
■必ず2人以上で組み立ててください。

②ワイヤーを前後に通します。

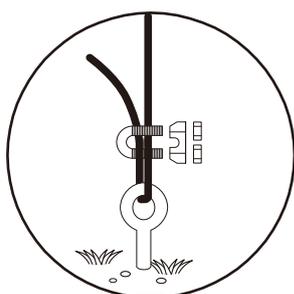


x2

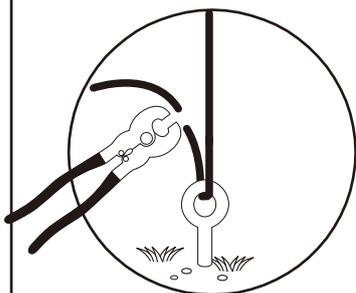
③土用アンカーにワイヤーを〔AM-11〕金具で固定します。



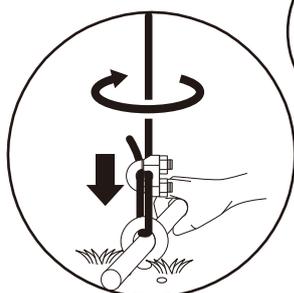
①ワイヤーを土用アンカーの穴に通す。



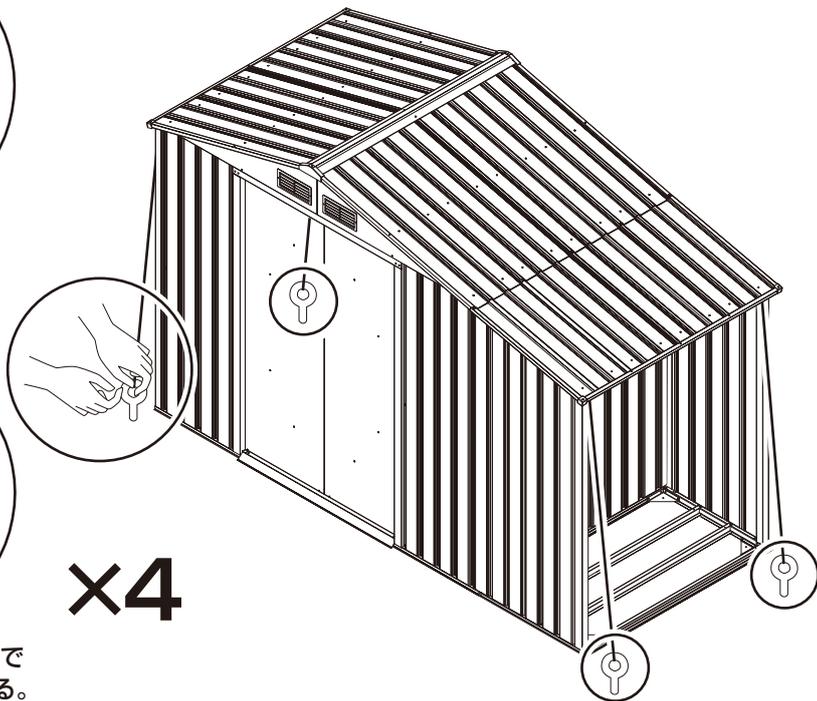
②〔AM-11〕金具で固定する。



③ワイヤーカッターで切断する。

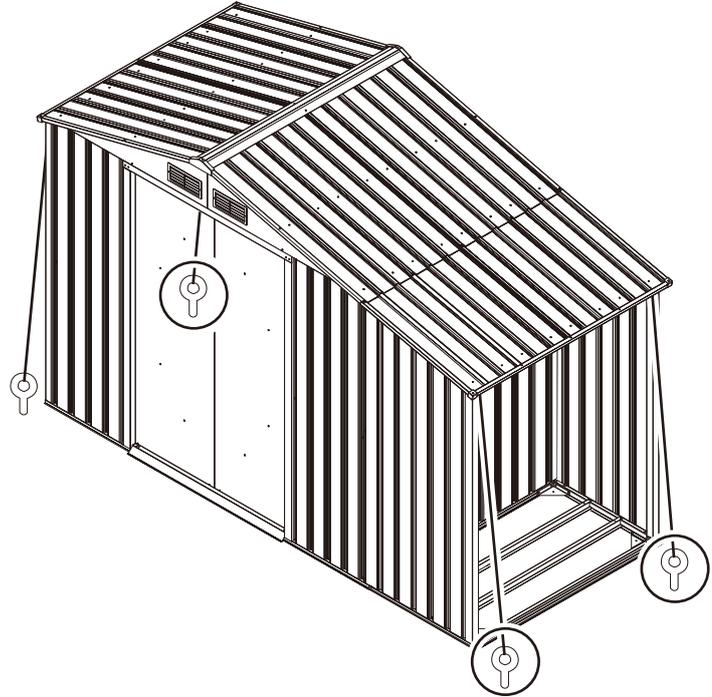
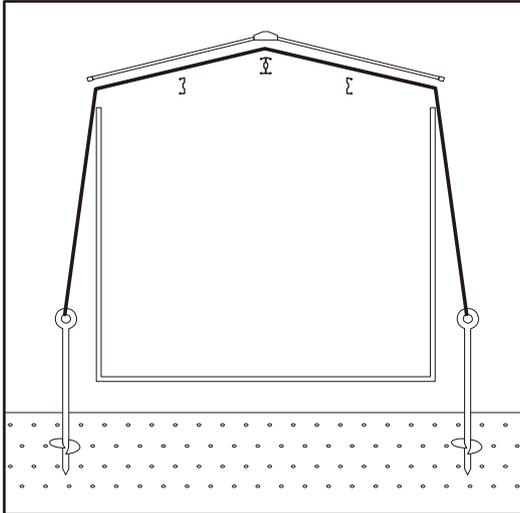


④土用アンカーを根元までしっかり沈めて固定する。



x4

④全体に緩みがない事を確認して完成です。



本製品につきまして  
ご不明な点がございましたら  
右記まで御連絡ください。

お客様相談窓口 フリーダイヤル

**0120-069-060**

(AM9:00~PM5:30 土・日・祝除く)

※故障等のお問い合わせは、お買い求められました販売店までお申し付けください。  
※本製品の仕様は改良の為、予告なく変更される事があります。

発売元：株式会社 山善 家庭機器事業部  
I.無断複製・転載禁止 22・9



本製品につきまして  
ご不明な点がございましたら  
右記まで御連絡ください。

お客様相談窓口 フリーダイヤル

**0120-069-060**

(AM9:00~PM5:30 土・日・祝除く)

※故障等のお問い合わせは、お買い求められました販売店までお申し付けください。  
※本製品の仕様は改良の為、予告なく変更される事があります。

発売元：株式会社 山善 家庭機器事業部  
I.無断複製・転載禁止 22・9